

第3回
地域活性化のための鳥取自動車道
の利活用に関する検討委員会

説明資料

平成24年11月26日

目次

資料概要	P. 3
1. 鳥取自動車道について （第1回検討委員会資料より）	P. 6
2. 休憩及び給油施設の補完及び誘導方法について （第2回検討委員会資料より）	P. 11
3. 検討内容に対する対応策について （第2回検討委員会資料より）	P.19
4. 対応策に基づく実際の取り組み内容	P.31
4-1. 休憩施設等への案内表示改善	P.31
4-2. 「鳥取道休憩施設ガイドマップ」の作成	P.37
4-3. 鳥取自動車道地域交流社会実験	P.40
4-4. ガソリンスタンド案内看板の試行	P.42
4-5. 観光地案内看板の試行	P.51

資料概要

資料概要～検討委員会について

設立趣旨

- ◇鳥取自動車道は無料の高速道路で各インターチェンジでの乗り降りは自由であるが、コスト削減の観点から高速道路にサービスエリア・パーキングエリアが設置されておらず、長距離利用者へのサービスが必ずしも十分とは言い難い状況である。
- ◇沿線の町では、従来から街道や宿場町を活かして、地域活性化に取り組んできているところであるが、鳥取自動車道のインターチェンジから沿線の各種施設や街道の宿場町等への適切な案内や地域資源への周遊を促す沿線地域の連携が求められている。
- ◇「地域活性化のための鳥取自動車道の利活用に関する検討委員会」は、新直轄方式で整備された鳥取自動車道の特性を踏まえ、沿線の「道の駅」や観光資源等の活用方策を検討し、道路利用者の利便性の向上および沿線の地域活性化につなげていくことを目標とする。

検討項目

- ◇休憩施設等への案内表示の改善
コスト削減の観点から削減されたサービスエリア・パーキングエリアの機能を補完するため既存の「道の駅」等の休憩施設への誘導を検討
→案内標識、道路管理者が作成するマップ等
- ◇総合的な案内サイン
休憩施設等への案内や素通りされないための対策として総合的な案内サインを検討
→IC～観光地周辺までの1次・2次・3次誘導
- ◇共通のロゴマークや地図と連携した標識
標識だけでは提供できない情報を統一のロゴマークやマップ等で提供することも検討
→統一のロゴマーク、沿線地域が連携して作成するマップ

委員会名簿

※平成24年11月時点



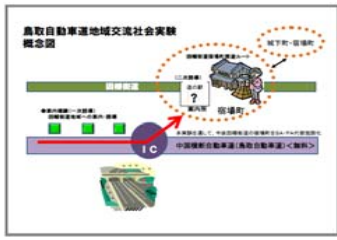





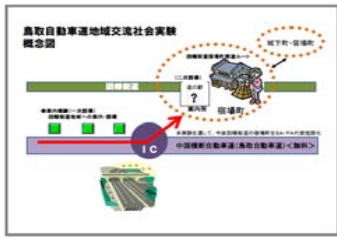


委 員		備 考
筑波大学大学院システム情報工学研究科教授	石田 東生	
鳥取環境大学 理事	道上 正規	
鳥取大学大学院工学研究科教授	谷本 圭志	
鳥取県 統轄監	法橋 誠	
岡山県 土木部長	平出 純一	
兵庫県 西播磨県民局長	藤原 由成	
鳥取市長	竹内 功	
岩美町長	榎本 武利	
若桜町長	小林 昌司	
智頭町長	寺谷 誠一郎	
八頭町長	平木 誠	
美作市長	安東 美孝	
西粟倉村長	青木 秀樹	
佐用町長	庵谷 典章	
因幡街道交流会議 会長	長尾 裕昭	
全国街道交流会議 専務理事	古賀 方子	
国土交通省 中国地方整備局 道路部長	伊藤 正秀	
国土交通省 鳥取河川国道事務所長	田中 衛	

委員会等開催状況

- 平成22年11月15日 第1回委員会
- 平成23年 2月21日 第2回委員会
- 平成24年11月26日 第3回委員会
- ◇平成22年12月13日 第1回幹事会
- ◇平成23年 2月 8日 第2回幹事会
- ◇平成24年 4月26日 第3回幹事会
- ◇平成24年10月 9日 第4回幹事会
- ◇平成24年11月 8日 第5回幹事会

資料概要～鳥取道沿線施設への案内誘導の取り組み

「鳥取道の利活用に関する検討委員会」での検討項目に対する取り組み状況

検討項目	検討内容	課題	対応策	（平成23年度） 取 り 組 み 内 容	（平成24年度）
休憩施設等への案内表示改善	トイレ機能 (30分以内) 疲労回復機能 (60分以内)	「道の駅」等への誘導案内必要	①本線内外の「道の駅」等の施設内容、出口位置、距離等の案内標識を設置 本線併設は緑色、本線外は青色 	休憩施設等への案内表示改善 (案内標識の設置) ・「道の駅かわはら」を対象とした案内表示改善。 ・設置要領の見直しを行い、鳥取道沿線の他の道の駅への案内表示改善へ展開。 ※「鳥取自動車道休憩施設ガイドマップ」上に表示  「鳥取自動車道休憩施設ガイドマップ」の作成 	標識の追加 
	給油機能 (60分以内)	注意喚起が必要	②「鳥取道にGS無し」を周知する標識(看板)を設置 		ガソリンスタンド案内看板の試行 (H24. 4. 26から実施) 
		IC周辺GS情報の提供が必要	③年中無休、24h利用可能GSの施設、出口位置等の案内標識を設置 青色を基本 		
	上記の総合案内		④休憩施設マップ、給油情報チラシカーナビ連携など		
総合的な案内サイン	IC～観光地周辺地までの1次・2次・3次誘導	沿線への立ち寄り行動促進 滞留時間増大にむけた地域内周遊促進	⑤1次・2次・3次案内サイン 	鳥取自動車道地域交流社会実験 「道の駅かわはら」を中心とした沿線において、「因幡街道交流会議」による社会実験を実施 	智頭宿 
	統一のロゴマーク・沿線地域が連携して作成するマップ	標識だけでは提供できない情報を提供	⑥共通テーマでのサイン、沿線地域が連携して作成したマップ 大山パークウェイの事例 		
地図と連携した標識					

1. 鳥取自動車道について

1. 鳥取自動車道について

(平成22年11月15日開催 第1回検討委員会資料より抜粋)

1. 鳥取自動車道について

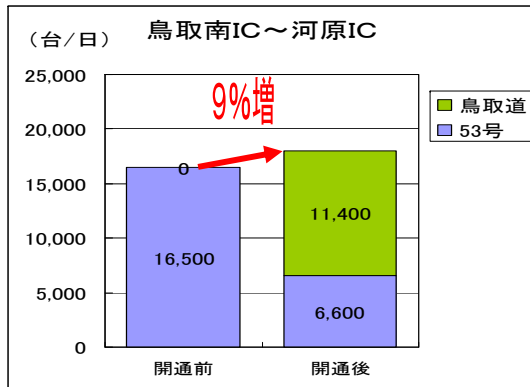
(第1回検討委員会資料より)

①鳥取自動車道開通の効果

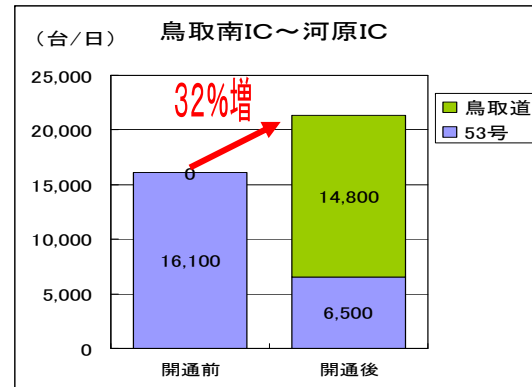
平成22年3月 鳥取自動車道の兵庫県内の佐用JCT～大原IC間と鳥取県内が全線開通。

これにより、断面交通量(鳥取自動車道と国道53号)が増加しており、特に休日での断面交通量の伸びが顕著である。

【平日】

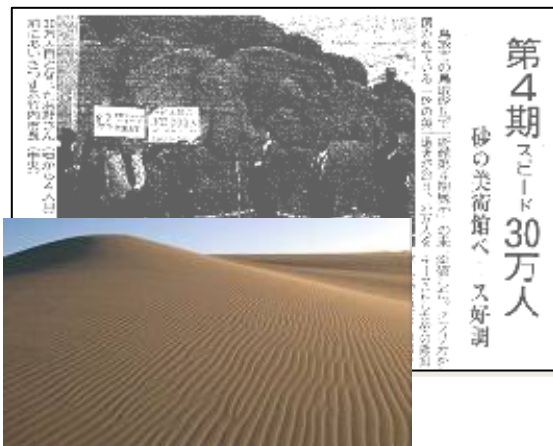


【休日】

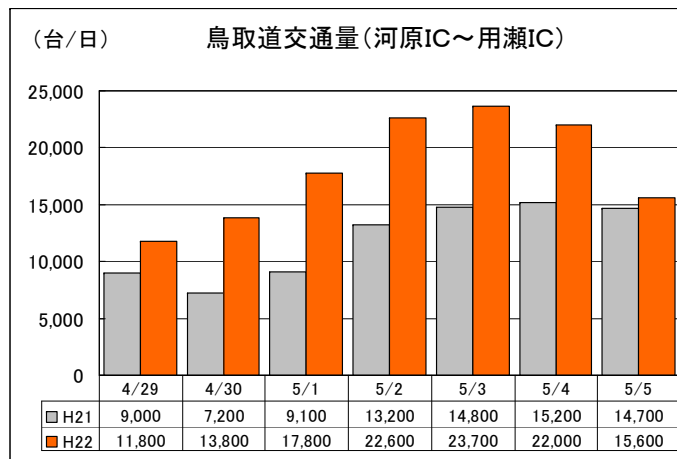


鳥取自動車道の鳥取県内全線開通により、GW、お盆の鳥取自動車道の利用交通量も開通前に比べ増加している。

鳥取砂丘等の観光地でも昨年度に比べ来客のペースは好調である。



鳥取砂丘(鳥取市)



鳥取市～神戸市の所要時間

未開通※ 約3時間20分

〔開通後(H21年度末)〕 約2時間50分

約30分短縮

〔全線開通後〕 約2時間40分

約40分短縮

1. 鳥取自動車道について

(第1回検討委員会資料より)

②鳥取自動車道の特長

鳥取自動車道は、無料の高速道路であるため、どのインターチェンジで降りても料金がかからない高速道路である。

一方、新直轄方式で整備したため、サービスエリア、パーキングエリアが削除されており、それらの機能を補完し、利用者の利便性向上を図るためには、インターチェンジ周辺の既存の休憩施設(道の駅等)への案内・誘導が必要と考えられる。

○第2回国土開発幹線自動車道建設会議

新直轄方式区間におけるコスト削減のメニューとして、料金所、サービスエリア・パーキングエリア、バスストップの削除

(平成18年2月)

沿道の「道の駅」等の活用

※鳥取自動車道は料金所・バスストップに該当する箇所は無い

《第2回国土開発幹線自動車道建設会議資料抜粋》

項目	代表的なメニュー
構造・規格の見直し	・設計速度の見直しによる構造・規格の見直し ・縦断線形等の特例値を多く採用 等
無料化に伴う見直し	・料金所 サービスエリア・パーキングエリア、バスストップの削除 ・暫定2車線区間における追越車線の削除 ・インターチェンジのコンパクト化 等
技術開発に伴う見直し	・現地状況に応じたより適切な施行方法の採用による見直し 等

3. 沿線の地域活性化

鳥取自動車道が開通し、所要時間の短縮や交通量の増加などの効果が明らかとなった一方で、沿線市町村では素通りによる地域への影響が懸念されている。

智頭町の石谷家住宅のように、時間短縮効果により周遊観光が増えたと思われる事例もあり、沿線の観光資源に関する情報提供をいかにしていくかは、地域活性化において重要な課題である。

4. その他

上記2と3の観点から鳥取自動車道の有効活用について、以下の章において検討する。

ただし標識等の設置については、設置場所、設置数、文字の量や大きさなど制限があることに留意して検討。

1. 鳥取自動車道について

(第1回検討委員会資料より)

③沿線地域との連携による観光資源等を活かした鳥取自動車道の利活用方策

◆現状及び課題

- ・鳥取砂丘などは知名度が高いものの、沿線の観光地は知名度が低いことから、沿線地域や観光地は素通りされる懸念がある。
- ・鳥取自動車道沿線地域が連携してまとめたようなマップや情報ツールは未整備である。

■沿線自治体観光課などへのヒアリング結果

- ①鳥取市(河原近辺)は、道の駅への立ち寄り**は1.3倍に増加**。
旧道の交通量は減少し、混雑も減っているが沿道の観光地客の変動は不明。
- ②鳥取市(用瀬近辺)は、観光客、交通量共に減っている。(流しびなの館は約24%減)
- ③智頭町は1昨年のGWではインフルエンザ、ガソリン高騰の影響で観光客は減ったが、今年**は回復増加傾向**。
阪神など**遠方の観光客が増加**しているように思える。
- ④西粟倉村は交通量の増加に伴い、その比率で道の駅あわくらんの客も約**1.2倍増加**。
山歩きのコースについても徐々に兵庫県のユーザーなどに浸透しつつある。
- ⑤美作市(大原・東粟倉地域)は、交通量は非常に多くなった(特に土・日)。
但し観光客が多くなったという現象は起きていない。**通りぬけといった感じが否めない**。
- ⑥佐用町は、道の駅宿場町ひらふく**→20%減少**。(観光バスは来なくなり、県外車も殆ど見られなくなった)



1. 鳥取自動車道について

(第1回検討委員会資料より)

③沿線地域との連携による観光資源等を活かした鳥取自動車道の利活用方策

【対応方針】

- ・自動車道と並行して因幡街道や宿場町が点在することに着目。
⇒ 回遊拠点として売り出せるポテンシャルを持った地域。共通のイメージ等で沿線地域が連携してPR。
- ・素通りされないためには、それらへ誘導するための総合的な案内サイン（標識類）を検討する必要がある。
- ・来訪者が使いやすいマップやパンフレット、HP、カーナビ、QRコード等を整備する必要があると考えられる。



2. 休憩及び給油施設の補完及び誘導方法について

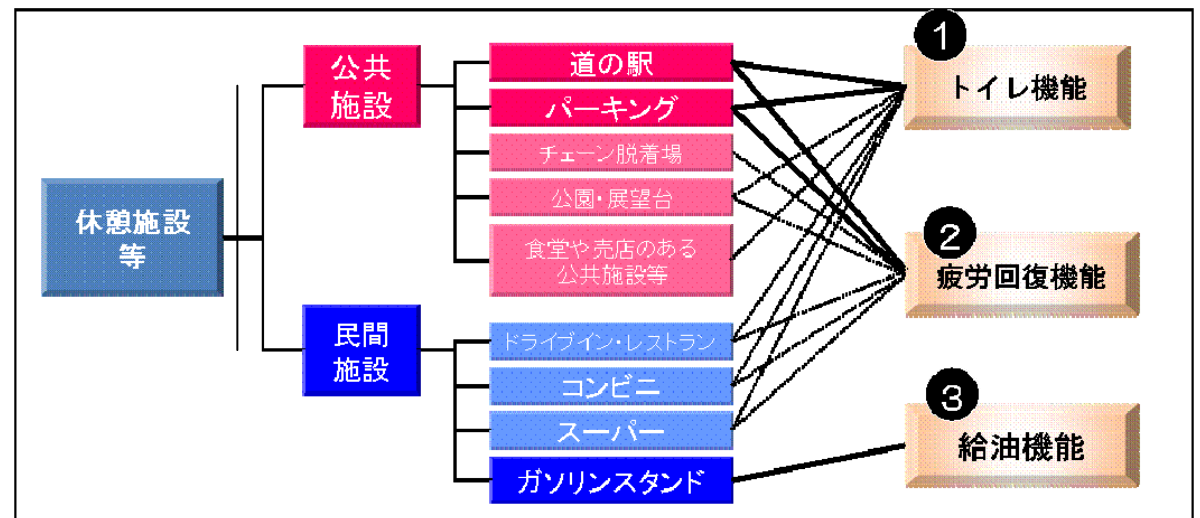
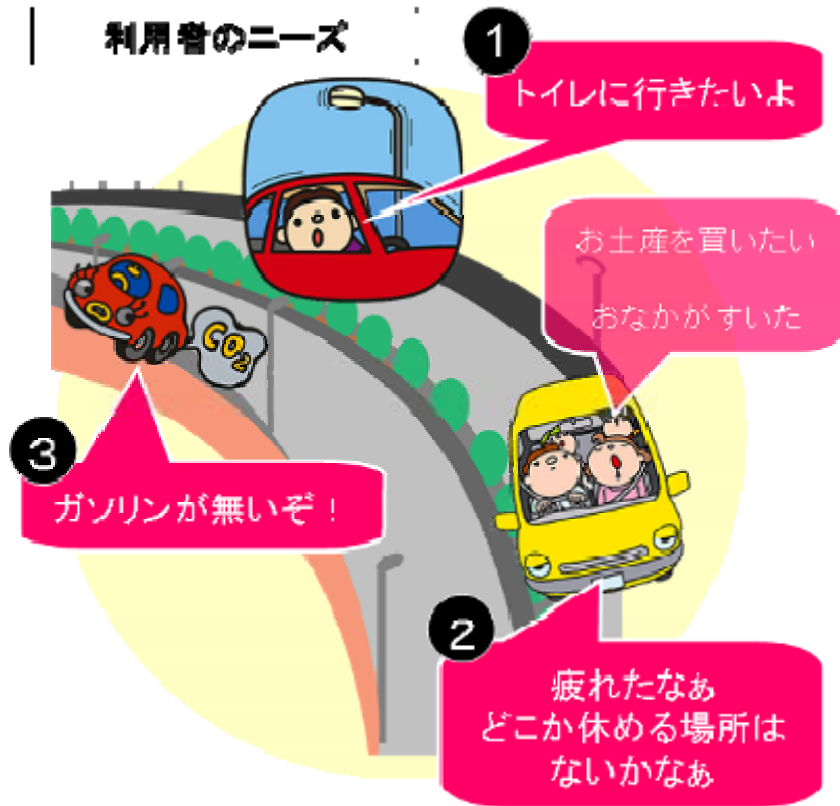
2. 休憩及び給油施設の補完及び誘導方法について

(平成23年2月21日開催 第2回検討委員会資料より抜粋)

2. 休憩及び給油施設の補完及び誘導方法について (第2回検討委員会資料より)

①鳥取自動車道において、最低限必要と考えられるサービス施設

■利用者の安全で安心なドライブのために必要な休憩機能等は以下の5機能（トイレ、疲労回復、給油、買物、食事）と考えられる。
■ただし、買物機能、食事機能についてはトイレ、疲労回復とともに行われることが一般的と考えられるため、本資料における検討対象としては、①トイレ機能、②疲労回復機能、③給油機能の3機能としている。



※図中の色の濃淡や実線、波線の使い分けは、①、②、③の機能を沿道施設に分担する際の適正の度合いを示す。

2. 休憩及び給油施設の補完及び誘導方法について (第2回検討委員会資料より)

② 休憩機能確保における検討結果

鳥取自動車道は、無料の高速道路であるため、どのインターチェンジで降りても料金がかからない高速道路である。

一方、**新直轄方式で整備したため、サービスエリア、パーキングエリアが削除**されており、それらの機能を補完し、利用者の利便性向上を図るためには、インターチェンジ周辺の既存の休憩施設(道の駅等)への案内・誘導が必要と考えられる。

SA・PAの削減により本線上
の休憩機能が不十分



現道の既存施設(道の駅・GS)へ誘導
することにより休憩機能の補完を図る

その検討した結果は以下のとおりであり、その詳細については次頁以降のとおりである。

■ 「道の駅」、既設のガソリンスタンドを利用することにより休憩機能を概ね満足する。

検討内容	結果の概要	課題
①トイレ機能の確保 (30分以内)	・中国道のSA,PA、及び鳥取自動車道のIC近傍の道の駅等の活用で対応可能	・「道の駅」等への誘導案内が必要
②疲労回復機能の確保 (60分以内)	・中国道のSA,PA、及び鳥取自動車道のIC近傍の道の駅等の活用で対応可能	・「道の駅」等への誘導案内が必要
③給油機能の確保 (60分以内)	・鳥取自動車道のIC周辺の既存ガソリンスタンドの利用により昼間は対応可能(各IC周辺から10分以内にはGSが存在) ・ただし夜間については、24時間営業のガソリンスタンド(鳥取IC周辺)に限られる。	・IC周辺のガソリンスタンドの情報提供が必要 ・夜間については、「24時間営業ガソリンスタンドの情報提供」及び「早めの給油に関する注意喚起」が必要

2. 休憩及び給油施設の補完及び誘導方法について (第2回検討委員会資料より)

③ 休憩施設の位置

第2回国幹会議でコスト削減によりSA・PAが見直し項目となる。

鳥取自動車道では用瀬CB (PAとして利用)、河原CB (道の駅の駐車場として利用。下り線のみ利用可)、福原PA (上り線のみ利用可能) の3箇所が本線上に設置されている。 ※CB:チェーンベースの略

用瀬CB

駐車場24台(普通車15台・大型車9台)、
お手洗い(男性用(小)3器・男性用(大)1器、女性用5器)・身障者用設備



※冬期以外もPAとして利用しているため以下の項ではPAと表示

河原CB

駐車場32台(普通車28台・大型車4台)

お手洗い(隣接する道の駅かわはらに設置)



※道の駅かわはらの道の駅駐車場として利用

福原PA

駐車場15台(普通車10台・大型車5台)、
お手洗い(男性用(小)2器・男性用(大)1器、女性用2器)・身障者用設備



※福原PAについては新直轄区間外の志戸坂峠道路に設置。



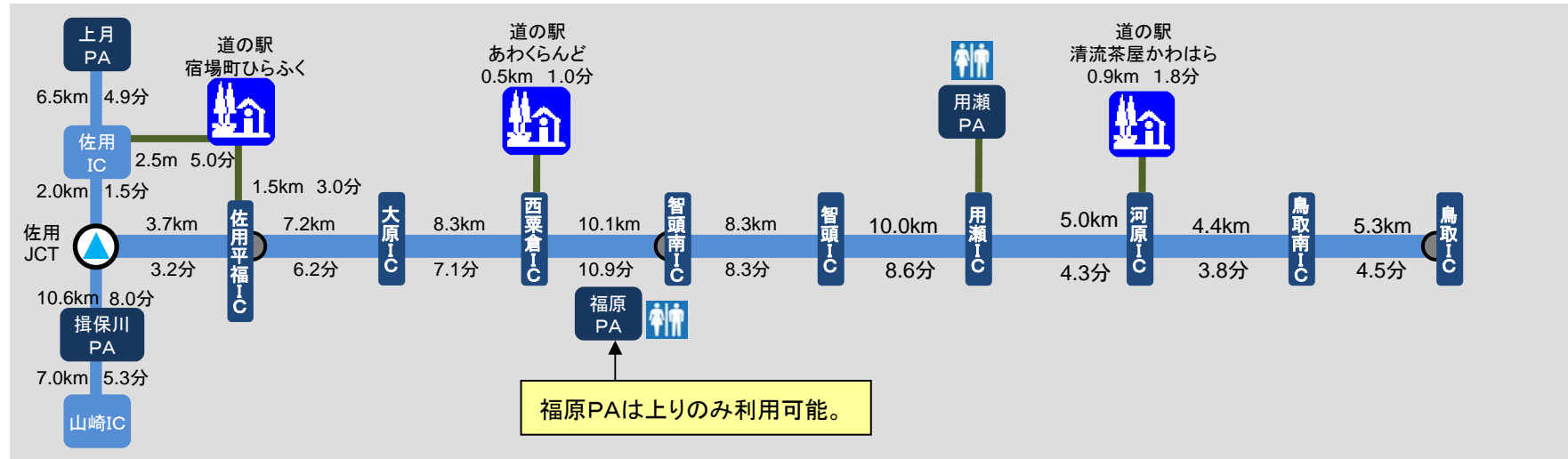
2. 休憩及び給油施設の補完及び誘導方法について (第2回検討委員会資料より)

④ トイレ機能(30分以内)及び休憩機能(60分以内)の確保

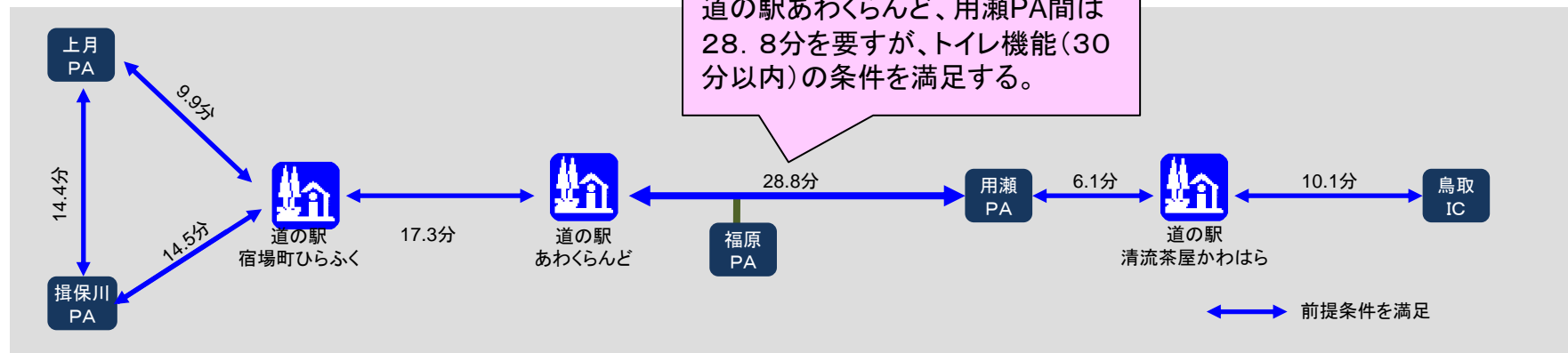
■トイレ機能を満たすことが可能な施設の相互間隔の検証(前提条件の検証)

下図のとおり、最長区間である「西粟倉IC(道の駅あわくらんど)～用瀬PA」においても、所要時間29.8分で30分以内のトイレ機能を確保できている。

●実際の施設配置



●下図の実配置を元にした施設間連絡の模式図

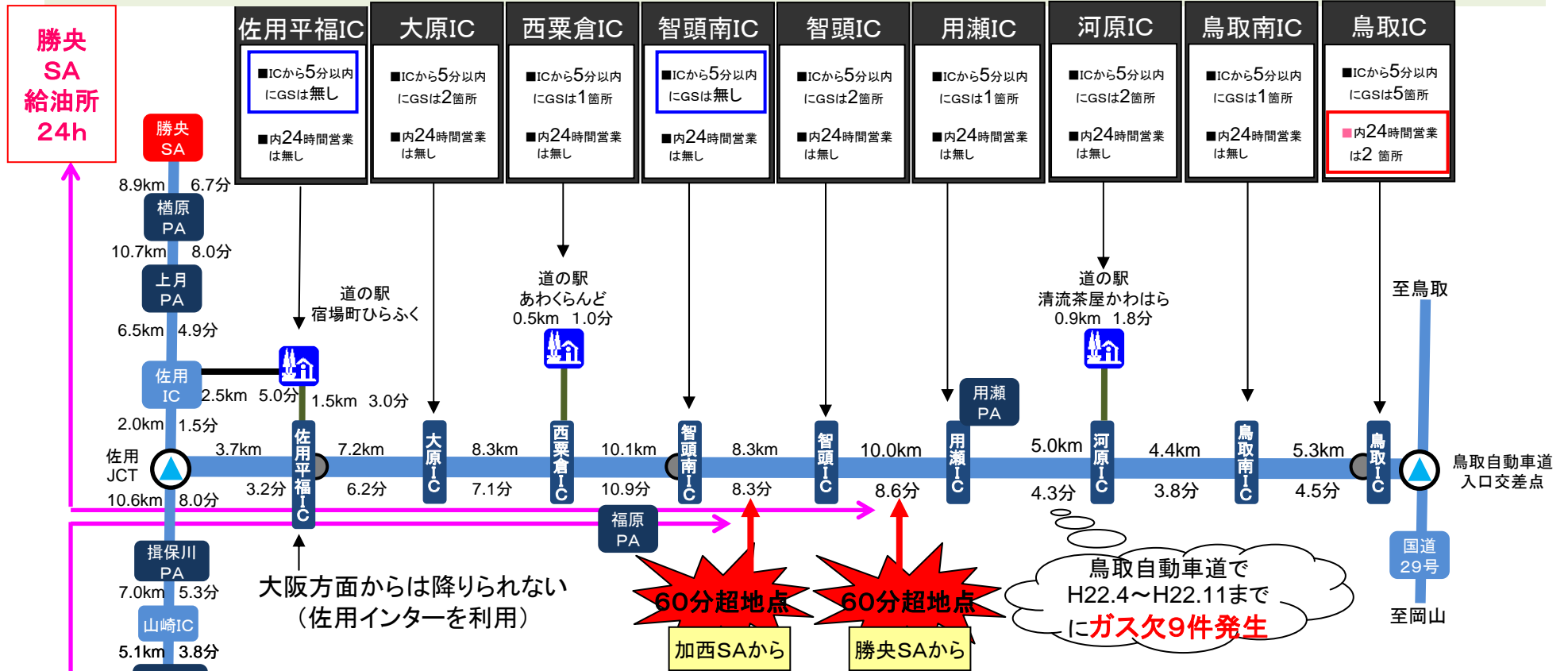


※1 表及び図中の時間表示(分)は、中国道80km/h、鳥取自動車道70km/h(西粟倉から智頭ICは60km/h、志戸坂トンネル(坂根～駒帰)は40km/h)で走行時の所要時間を示している。

2. 休憩及び給油施設の補完及び誘導方法について (第2回検討委員会資料より)

⑤ 給油機能(60分以内の確保)

鳥取自動車道においては以下の状況から「日中の60分以内の給油機能の確保」に関しては、もよりのICを降りて給油すれば問題のない状況となっているが**24時間営業のスタンドは鳥取IC以外にはない**ため、夜間については「24時間営業ガソリンスタンドの情報提供」及び「**早めの給油に関する注意喚起**」が必要である。



・佐用平福、智頭南以外は、各IC周辺には5分以内にガソリンスタンドが存在する(佐用平福、智頭南ICでも10分以内には存在)。
 ・ガソリンスタンドのあるIC間所要時間の最長は10分前後(西粟倉IC~智頭南IC=10.9分)
 ・24時間ガソリンスタンドは、鳥取IC以外にはない。

■GS営業時間中と営業時間外の交通量の内訳 H22.10.06(水)調査

区間	交通量計	交通量		備考
		GS営業時間中	GS営業時間外	
佐用平福IC~大原IC	4,164	3,651	513	営業時間7h~20h
大原IC~智頭南IC	5,057	4,535	522	営業時間7h~19h
智頭南IC~智頭IC	3,506	2,908	598	営業時間7h~20h
智頭IC~用瀬IC	9,031	7,837	1,194	営業時間7h~20h
用瀬IC~河原IC	10,608	7,506	3,102	営業時間8h~18h
河原IC~鳥取南IC	11,956	9,111	2,845	営業時間8h~20h
鳥取南IC~鳥取IC	10,582	9,797	785	営業時間8h~19h

※1 表及び図中の時間表示(分)は、中国道80km/h、鳥取自動車道70km/h、西粟倉から智頭ICは60km/h、志戸坂トンネル(板根~駒帰は40km/h)で走行時の所要時間を示している。
 []で囲んだガソリンスタンドは24時間営業。

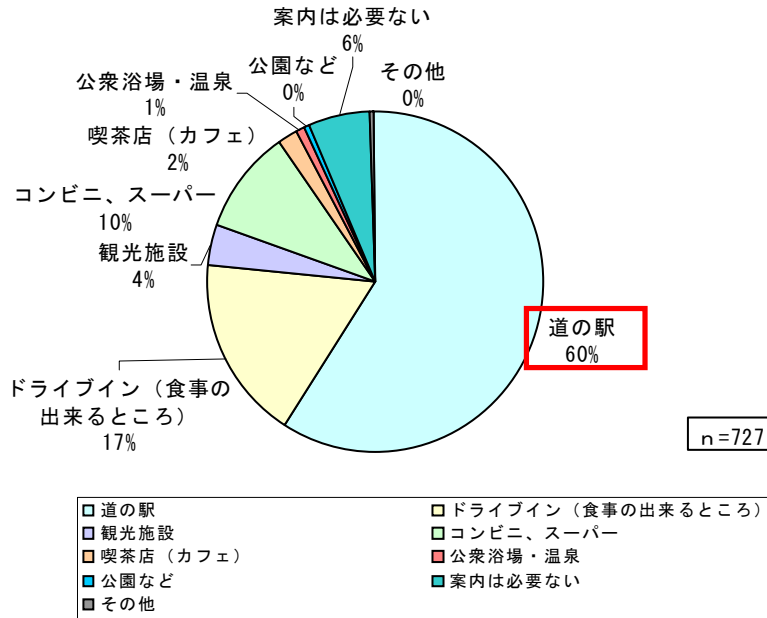
注)交通量計は上下線の合計。GSの営業時間は、両端IC近辺の営業時間が短い方を表示。15

2. 休憩及び給油施設の補完及び誘導方法について (第2回検討委員会資料より)

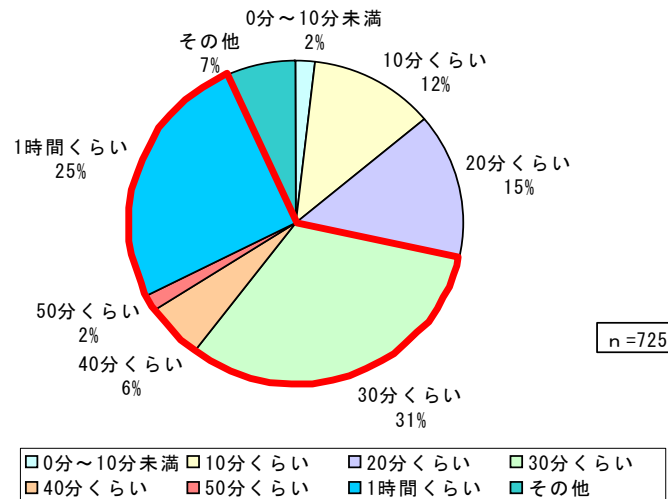
⑥ 利用者ニーズ調査結果(ユーザーの意見把握)

【休憩施設への案内について】

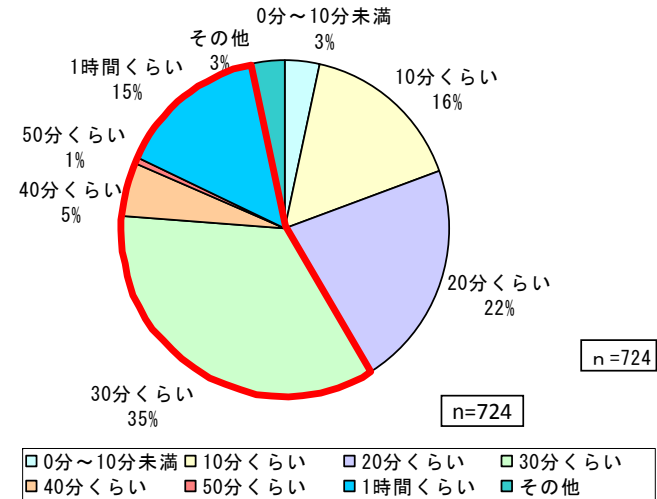
①案内して欲しい休憩施設は？



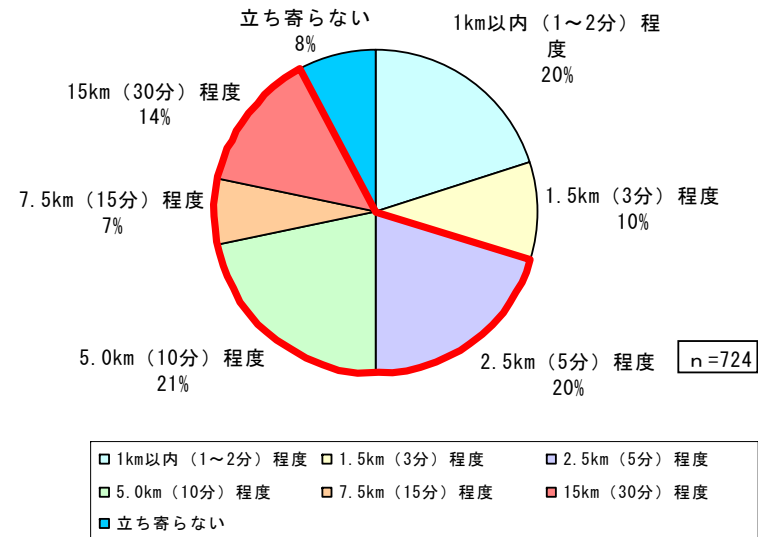
②休憩施設まで我慢できる時間は？



③トイレまで我慢できる時間は？



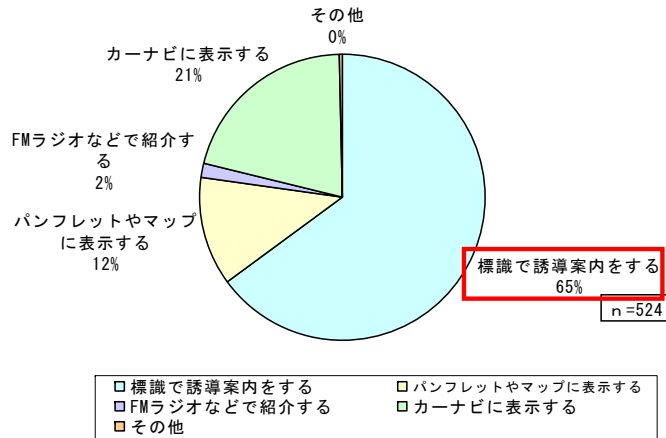
④ICから道の駅までの立寄り距離は？



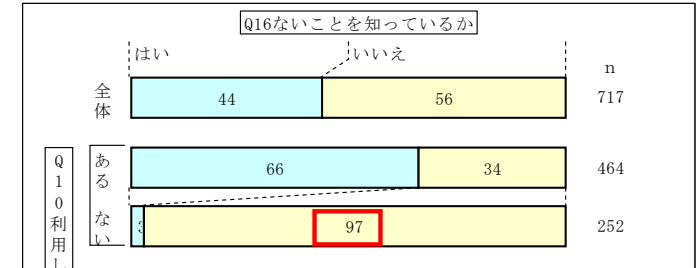
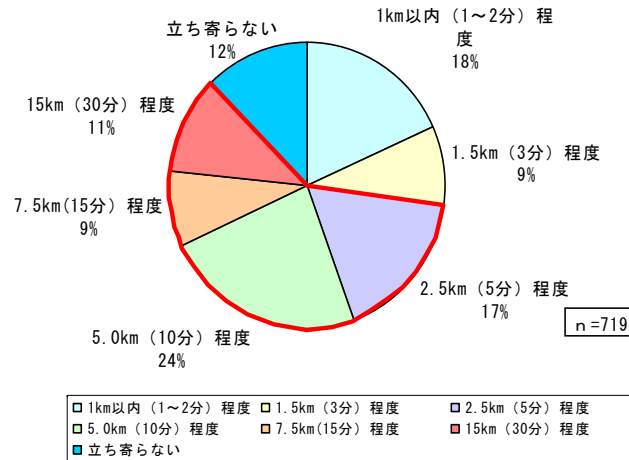
2. 休憩及び給油施設の補完及び誘導方法について (第2回検討委員会資料より)

【ガソリンスタンドへの案内について】

①ガソリンスタンドへの誘導はどういう方法が良い？



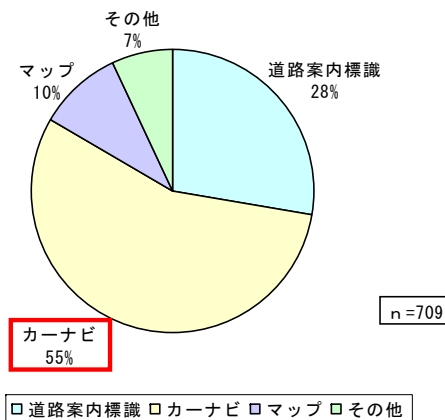
②ICからGSまでの立寄り距離は？



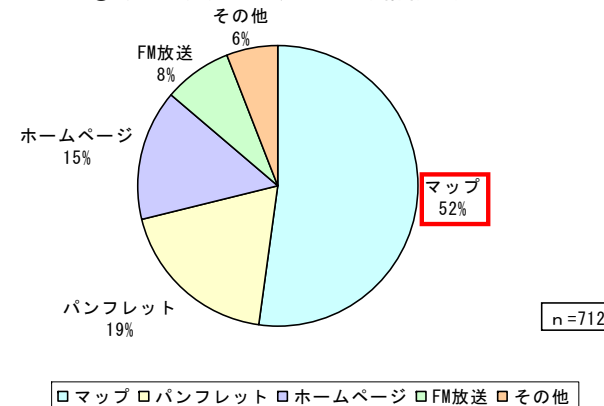
③GSがないことの認知度

【情報入手の方法について】

①目的地へ向かうために何を参考にするか？



②その他、あったら良いと思う情報提供手段は？



3. 検討内容に対する対応策について

3. 検討内容に対する対応策について

(平成23年2月21日開催 第2回検討委員会資料より抜粋)

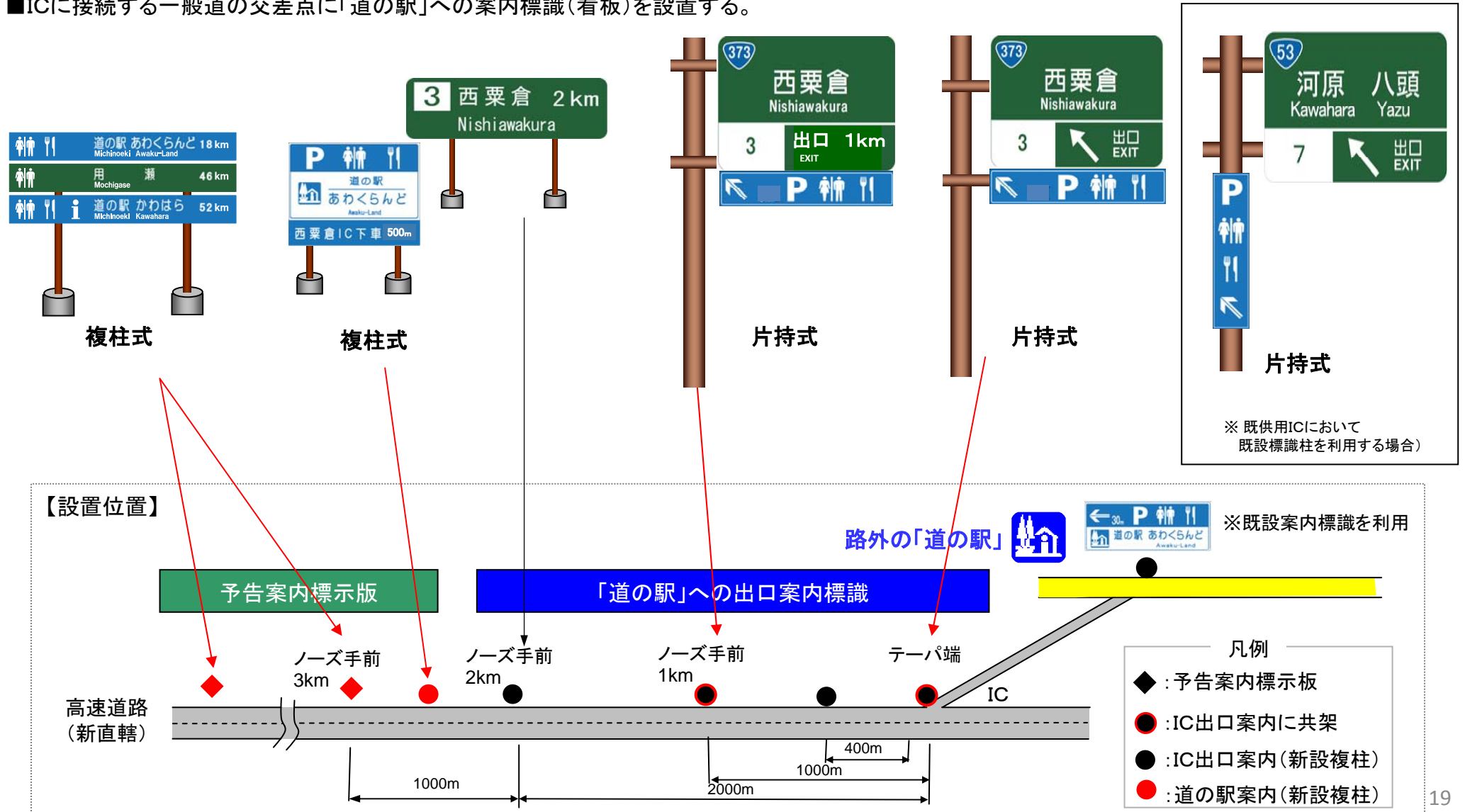
3. 検討内容に対する対応策について

(第2回検討委員会資料より)

① 「道の駅」案内標識の基本設置(案)

※ 関係機関と要調整
【取扱注意】

- 「道の駅」出口案内標識は、NEXCOのサービスエリア案内標識の設置基準に準拠する。
- 鳥取自動車道の本線併設と本線外の施設を区分するため、**本線併設は緑色**、**本線外は青色**を基本とする。(標識令の改正が必要)
- ICに接続する一般道の交差点に「道の駅」への案内標識(看板)を設置する。



3. 検討内容に対する対応策について

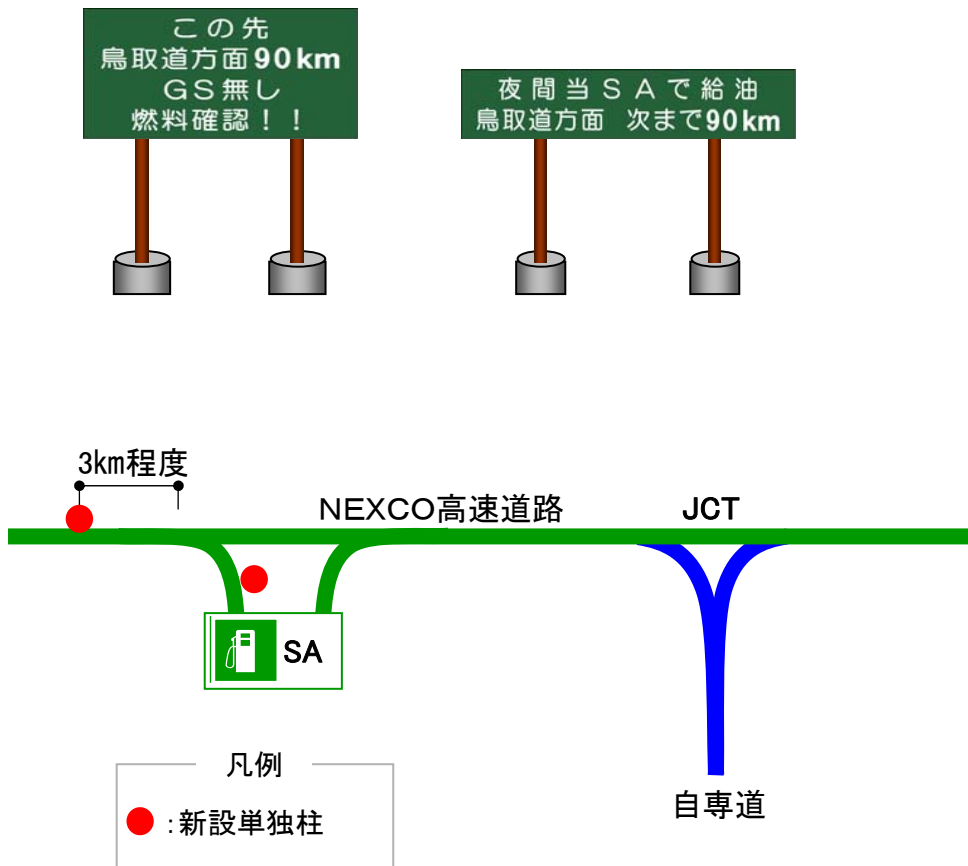
(第2回検討委員会資料より)

②「給油に関する注意喚起看板」

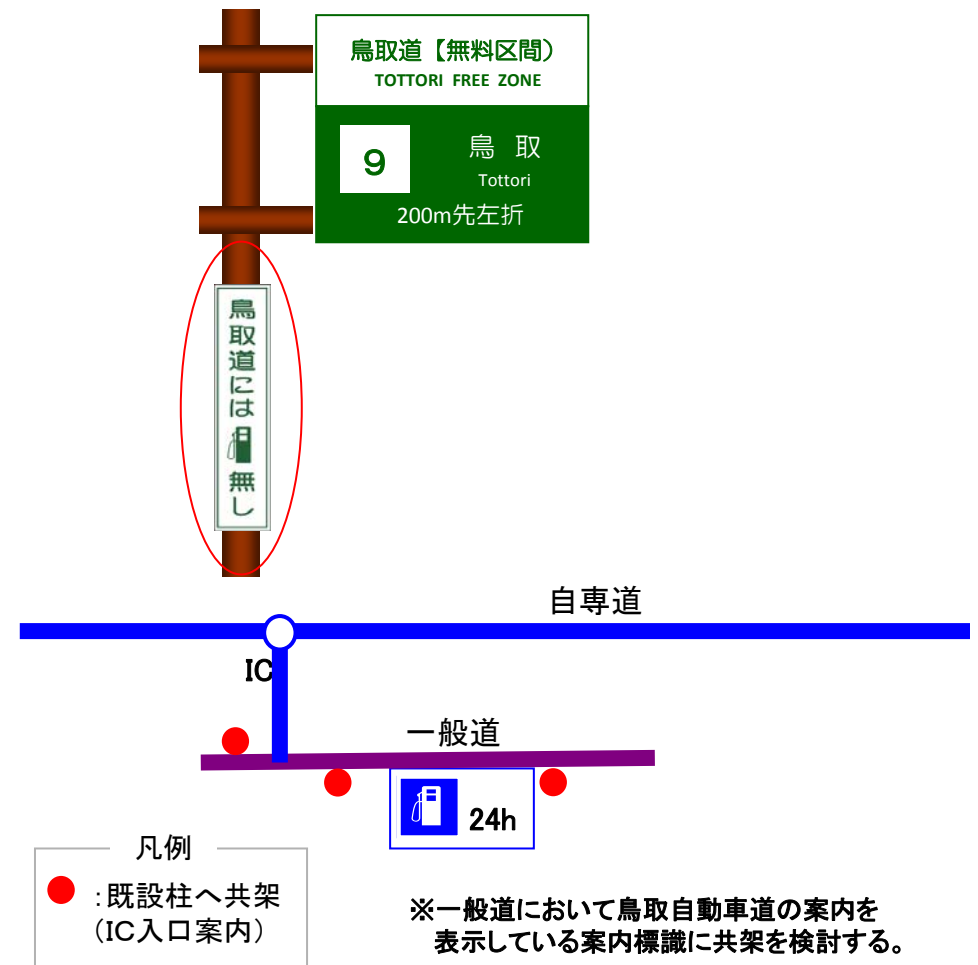
※ 関係機関と要調整
【取扱注意】

■ 鳥取自動車道に接続するNEXCO高速道路及び一般道に設置し、ガソリンスタンドが設置されていないことを伝える案内標識(看板)。

中国縦貫自動車道における基本設置(案)



ICに接続する一般国道における基本設置(案)



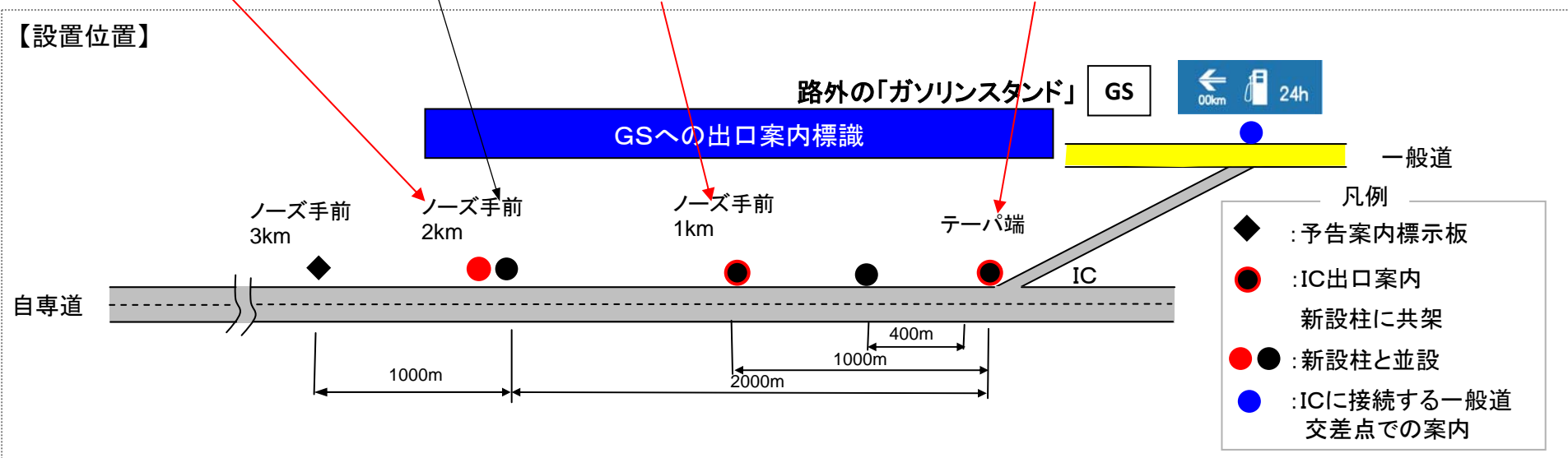
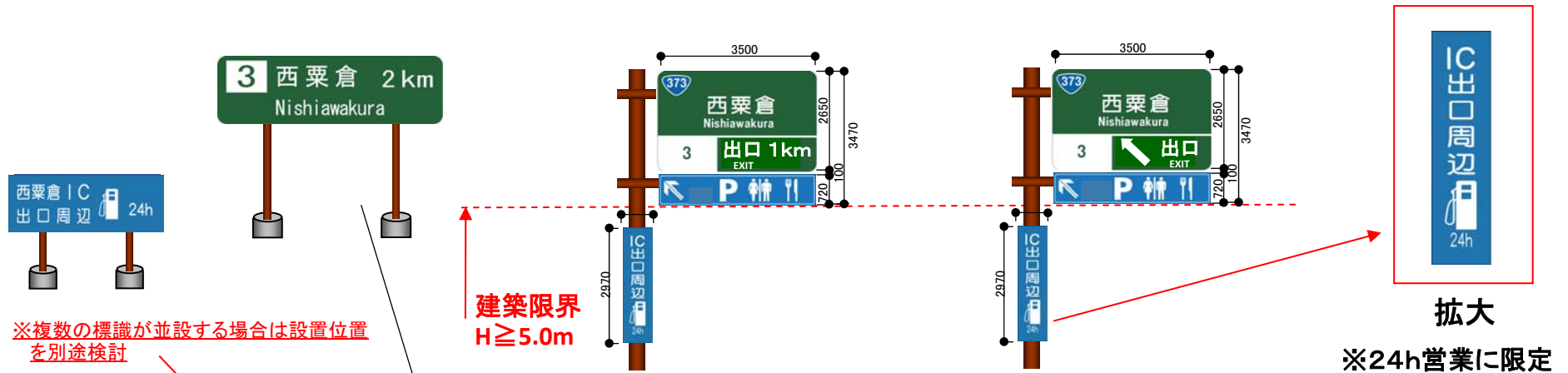
3. 検討内容に対する対応策について

(第2回検討委員会資料より)

③「ガソリンスタンド」への案内標識(IC出口案内)

※ 関係機関と要調整
【取扱注意】

- 24時間営業のガソリンスタンドがIC周辺にある場合に設置する。
- 「ガソリンスタンド」案内標識は、NEXCOのサービスエリア案内標識の設置基準に準拠する。
- 鳥取自動車道の本線外の施設であることを示すため、**青色を基本**とする。(標識令の改正が必要)
- ICに接続する一般道の交差点にガソリンスタンドへの案内標識(看板)を設置する。



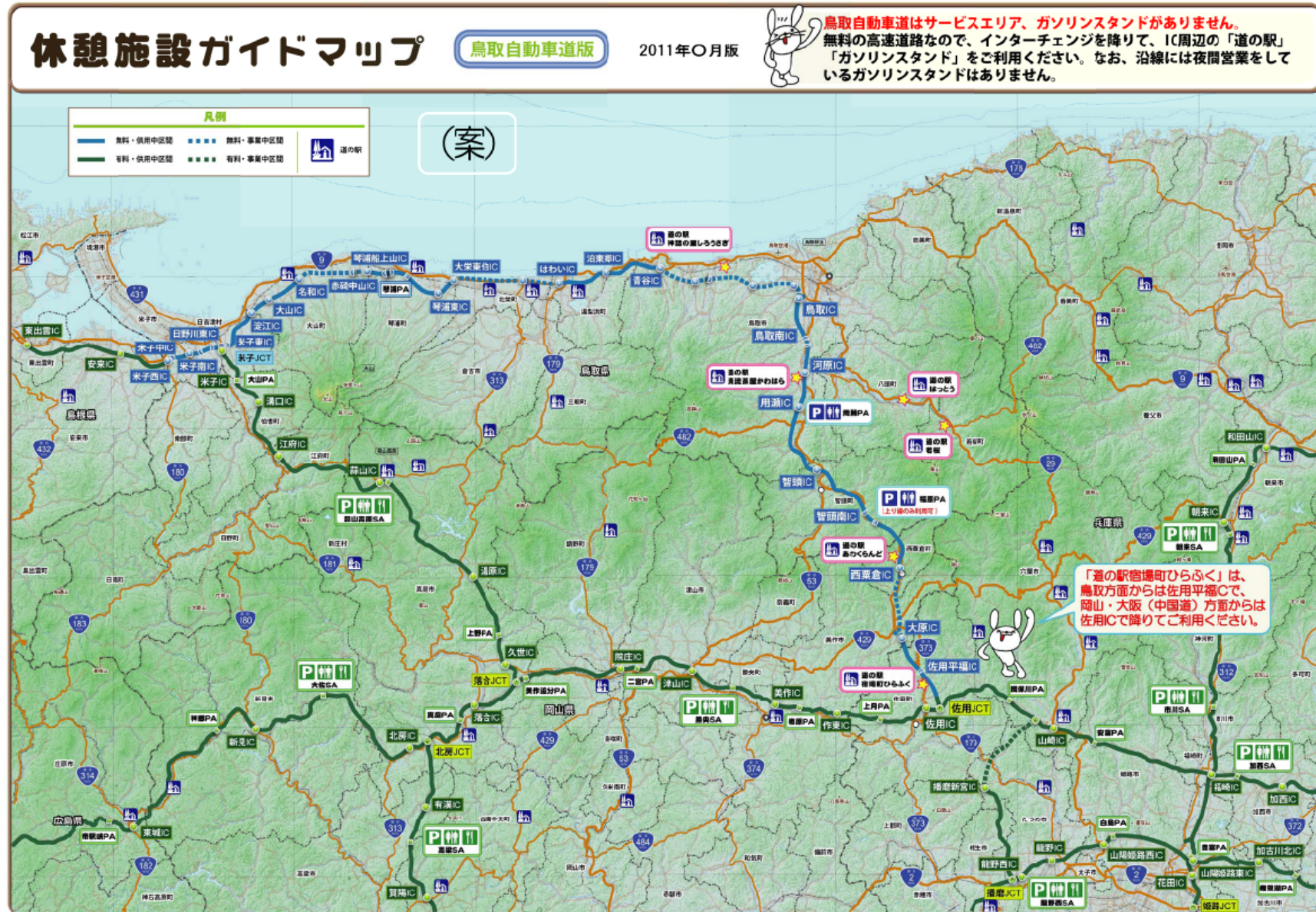
3. 検討内容に対する対応策について

(第2回検討委員会資料より)

④道路管理者が作成する休憩施設ガイドマップ(素案)

表面イメージ

※ 関係機関と要調整
【取扱注意】



3. 検討内容に対する対応策について

(第2回検討委員会資料より)

④道路管理者が作成する休憩施設ガイドマップ(素案) 裏面イメージ

※ 関係機関と要調整
【取扱注意】

鳥取自動車道はサービスエリア、ガソリンスタンドがありません。
無料の高速道路なので、インターチェンジを降りて、IC周辺の「道の駅」「ガソリンスタンド」をご利用ください。なお、沿線には夜間営業をしているガソリンスタンドはありません。

IC名	ICからの5分以内のガソリンスタンド
鳥取IC	ENEOS, 7-Eleven, Shell, Mobil
鳥取南IC	ENEOS
河原IC	ENEOS, Shell
用瀬IC	ENEOS
智頭IC	ENEOS, Shell, 7-Eleven, Mobil
西粟倉IC	ENEOS, Shell
大原IC	ENEOS, Shell
佐用IC	ENEOS, Shell, 7-Eleven, Mobil

※14時間営業のガソリンスタンドがあるのは作用IC、鳥取IC周辺のみです。

道の駅 湯家屋かわはら
鳥取県鳥取市湯家屋高島
P 大4 小4
レストラン営業 9:00~21:00

河原 IC 周辺の詳細図

用瀬 PA
P 大3 小4
トイレ

用瀬 IC 周辺の詳細図

鳥取自動車道沿線のガソリンスタンド情報

道の駅 宿場町ふらふく
鳥取県佐用郡佐用町千代
P 大4 小4
レストラン営業 9:30~19:00

鳥取自動車道

福原 PA
P 大3 小10
トイレ

西粟倉 IC 周辺の詳細図

道の駅 湯場町ふらふく
鳥取県佐用郡佐用町千代
P 大4 小4
レストラン営業 9:30~19:00

鳥取自動車道

道の駅 湯わくらんど
鳥取県東伯耆郡湯原町石
P 大1 小33
レストラン営業 9:00~19:00

勝央 SA
P 大3 小10
トイレ

鳥取自動車道

加西 SA
P 大3 小10
トイレ

中国自動車道

マーク凡例

- インターチェンジ
- ジャンクション
- サービスエリア
- パーキングエリア
- 道の駅
- ガソリンスタンド
- トイレ
- 自動販売機
- Wi-Fi
- スマートフォン充電
- コインパーキング
- 多目的利用施設

加西 SA
P 大3 小10
トイレ

3. 検討内容に対する対応策について

(第2回検討委員会資料より)

④カーナビとの連携

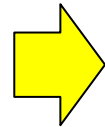
※ 関係機関と要調整
【取扱注意】

■鳥取自動車道(志戸坂峠道路含む)の走行時にも通常の高速道路走行時の画面表示にできないか検討。

■カーナビ画面



通常の高速道路走行時の画面



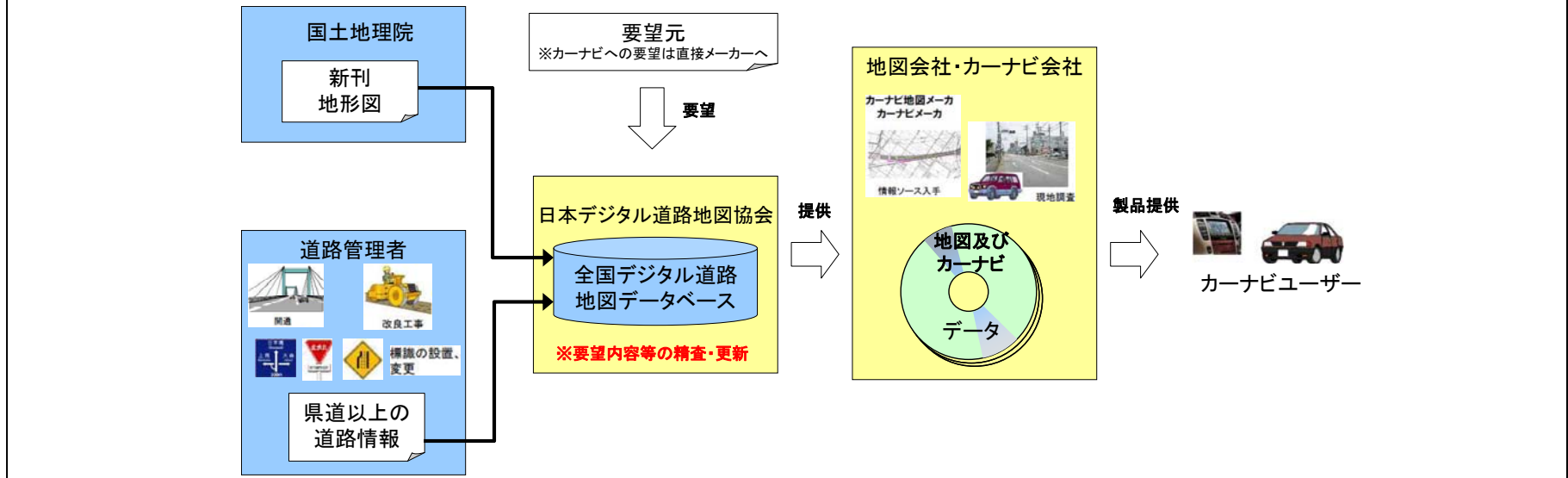
■カーナビ画面



鳥取自動車道(新直轄)の走行時画面の改良イメージ(提案)

- ・高速道路走行と同様の表示方法にする。
 - ・現道の道の駅を画面右側にも表示する。
- (※道の駅、ガソリンスタンドはもともと画面左地図上に表示)

道路地図情報の更新および要望の流通



3. 検討内容に対する対応策について

(第2回検討委員会資料より)

④その他(道路情報の提供)

※ 関係機関と要調整
【取扱注意】

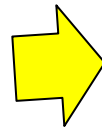
■ 「道の駅」でドライバーに鳥取自動車道の道路情報やライブ映像のほか、JARTIC等の道路交通情報を提供できるよう検討を行う。

「道の駅 清流茶屋かわはら」の情報コーナー



【TVモニター】

・国道9号、29号、53号の道路のライブ映像を表示

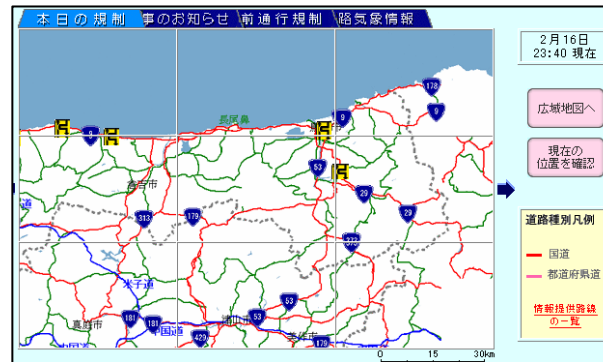


表示



表示

鳥取自動車道の道路情報・ライブ映像



道路交通情報イメージ



ライブ映像イメージ

道路交際情報NOW
現在の交通情報はこちら(JARTIC)

JARTICの道路交通情報

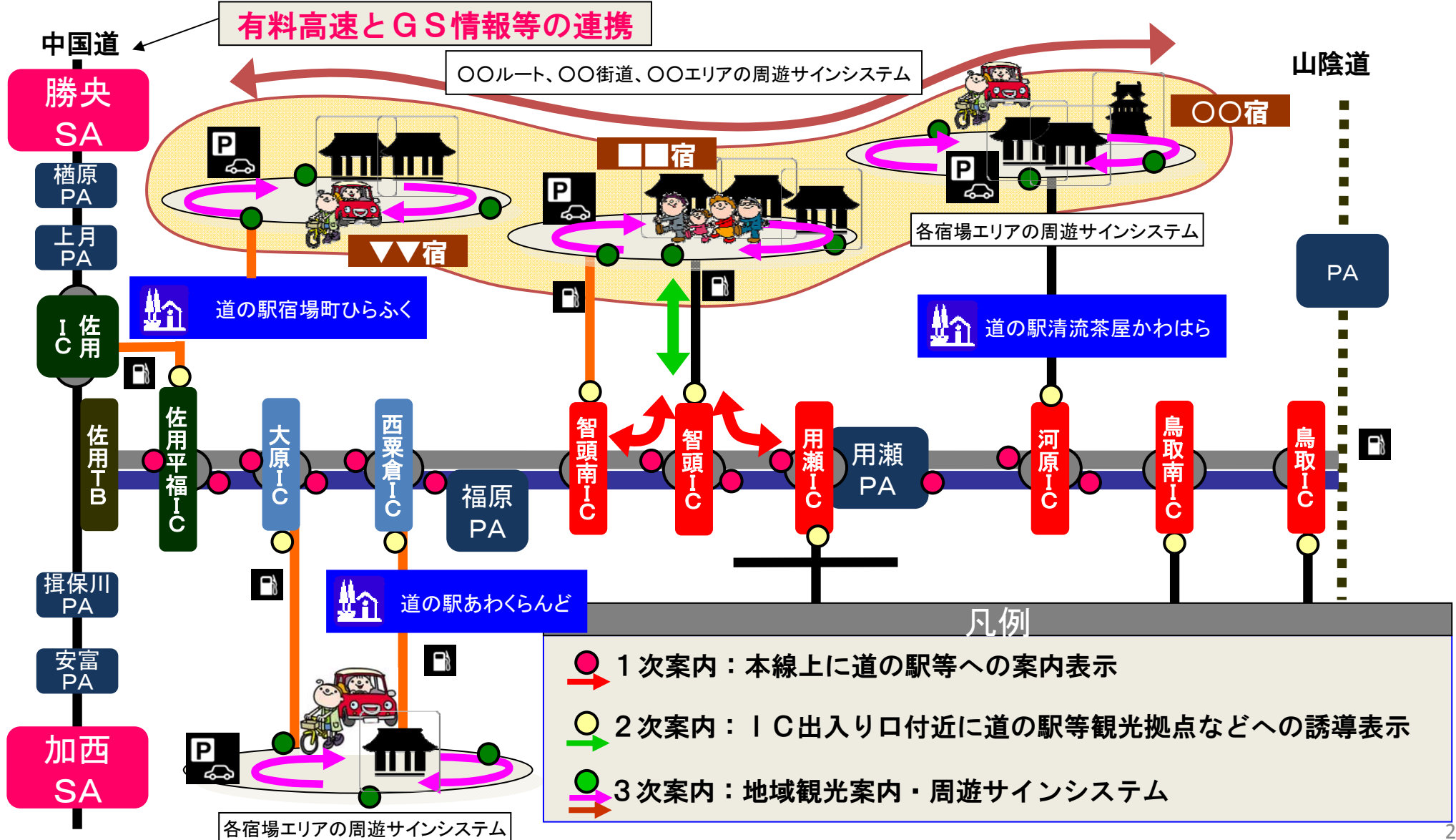


3. 検討内容に対する対応策について

(第2回検討委員会資料より)

⑤サインによる対応方策(1次・2次・3次案内サインのイメージ)

- ・利便性(休憩機能等)の向上のために本線上やIC内等に1次、2次案内し、沿道への立寄り行動を促進する。また、有料高速との連携も必要である。
- ・来訪者の滞留時間の増大にむけて、3次案内により地域内を周遊していただく。



3. 検討内容に対する対応策について

(第2回検討委員会資料より)

⑥共通のロゴマークや地図と連携した標識(共通的なテーマでのサイン事例)

■日本風景街道：支笏洞爺ニセコルート



■日本風景街道：熊野(和歌山県)



■大山パークウェイ・美保湾パークウェイ



■日本風景街道：ご縁をつなぐ神仏の通ひ路(島根県)



実際の看板の写真入り

3. 検討内容に対する対応策について

(第2回検討委員会資料より)

⑥共通のロゴマークや地図と連携した標識(沿線地域が連携して作成したマップ等のイメージ)

■パンフ・マップ(山陰悠悠絵図)

標識類のみで完全な案内を行うことには不可能であり、一定の限界があることから、沿線地域が連携して作成したマップ等はその他の情報提供手段の一つと考えられる。

山と海と湖のシンフォニー
鳥取県大田町から鳥取県倉吉市までエリア拡大!
神々のふるさと
山陰遊悠絵図 10版

「出雲国神仏霊場」巡拝
人の心に響く神々の心... 山陰の自然と歴史... 山陰の自然と歴史... 山陰の自然と歴史...

大山パークウェイ
大山パークウェイ
倉吉市街

QRコード
携帯電話(利用者)
LURL取得
施設予約
観光情報の取得
情報の提供
情報の更新
ホームページ(施設予約)
ホームページ(情報)

・詳細な情報が入手できるQRコード活用のイメージ

3. 検討内容に対する対応策について

(第2回検討委員会資料より)

⑥共通のロゴマークや地図と連携した標識(沿線地域が連携して作成したマップ等のイメージ)

■鳥取・因幡観光ネットワーク協議会で作成中のマップ。これらをベースにした鳥取自動車道沿線のマップがあってもよいのではないか。



【 因幡ぐるりNavi : 鳥取・因幡観光ネットワーク協議会・鳥取県東部広域行政管理組合 】

4. 対応策に基づく実際の取り組み内容

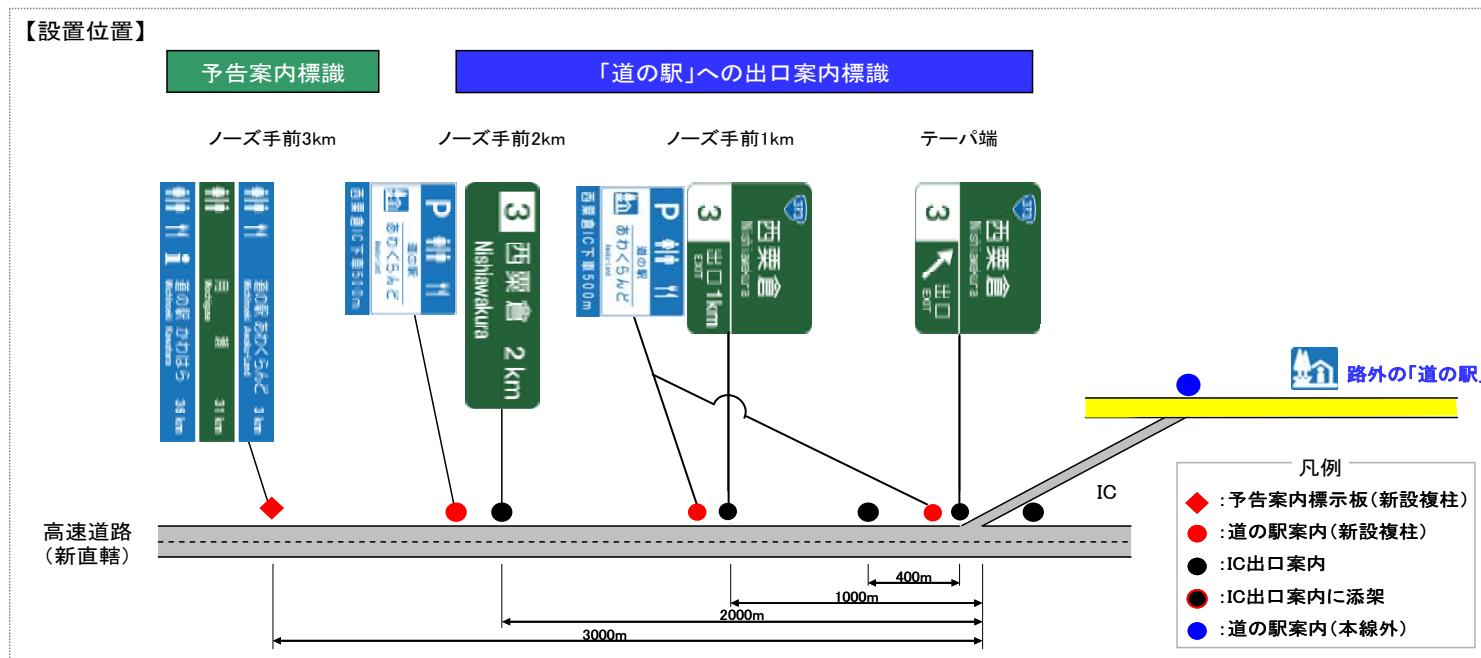
4-1. 休憩施設等への案内表示改善

4-1. 休憩施設等への案内表示改善

(1) 休憩施設への案内標示設置について

【 考え方 】

- ・休憩施設への案内標識については、3km手前、2km手前、1km手前、テーパー端に設置するものとする。
- ・このうち、2km手前、1km手前、テーパー端は同一標識で整備することを基本とする。
- ・ただし、テーパー端に限り、設置箇所がなかったり、標識が乱立する場合等は、別標識でも対応可能とする。

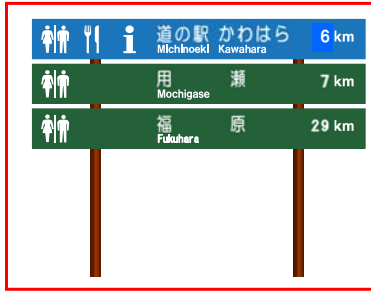


※テーパー端に限り、設置箇所がなかったり他の標識で情報が煩雑になる場合等は、別標識 (既設柱への添架) でも対応可能とする。

4-1. 休憩施設等への案内表示改善

(2) 休憩施設への案内標示(道の駅 清流茶屋かわはら)

河原IC周辺の配置計画(上り)



道の駅出口案内標識
ノズ手前3km(上り)



道の駅出口案内標識
テーパー端位(上り)

- 凡例
- … 高速道本線上
 - … 一般道



↓ 至姫路



道の駅出口案内標識
ノズ手前2km(上り)



道の駅出口案内標識
ノズ手前1km(上り)



道の駅案内標識(一般道)
IC出口



4-1. 休憩施設等への案内表示改善

河原IC周辺の配置計画(下り)



4-1. 休憩施設等への案内表示改善

(3) 休憩施設への案内標示(道の駅 宿場町ひらふく)



道の駅出口案内標識
ノーズ手前3km(上り)



道の駅出口案内標識
ノーズ手前2km(上り)



道の駅出口案内標識
ノーズ手前500m(上り)

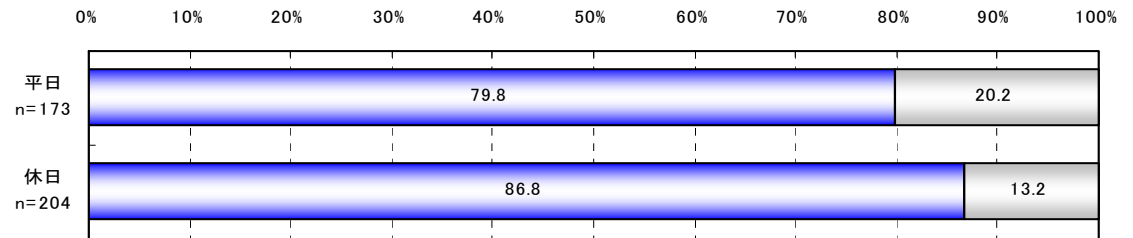
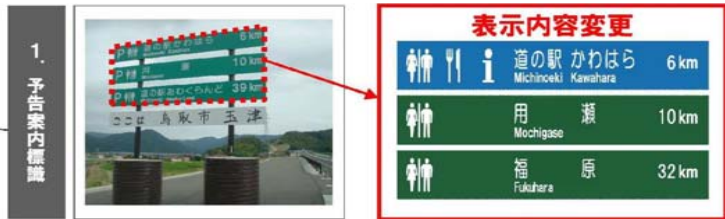


道の駅出口案内標識
テーパ端(上り)

4-1. 休憩施設等への案内表示改善

(4) 案内標示の改善に対するアンケート調査結果

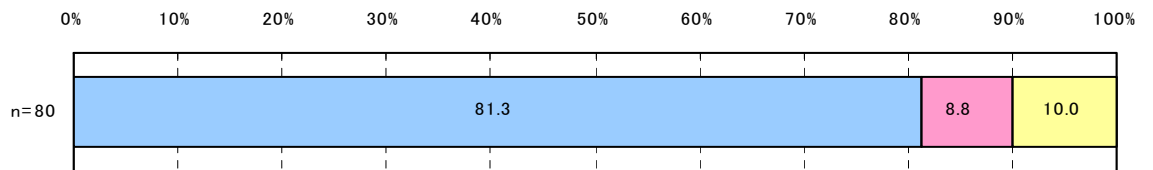
Q. 今回の実験では、高速道路上で一般道にある道の駅への案内標識は青色、高速道路上の施設は緑色で表現していますが、道の駅への案内は青色でよいと思いますか。



□ 青色でよい □ 別の色がよい

- ・約9割の方が青色がよいと回答している。
- ・別の色がよいと回答する方は、大半が高速道路と同じ緑色を示しており、一般道の道の駅案内と同じ白色と回答する方は少なかった。

Q. 今回の実験では、約2km手前に、次のような予告案内標識を新たに設置しています。これまでの案内標識とどちらがよいですか。



□ 今回の実験の標識がよい □ 現状(北方面の標識)がよい □ 無回答

- ・道の駅の案内標識の2km手前の予告は、道の駅名に加え、ピクトマーク、IC下車後の距離も表現した現在の試行案を望む声が約8割と高い。

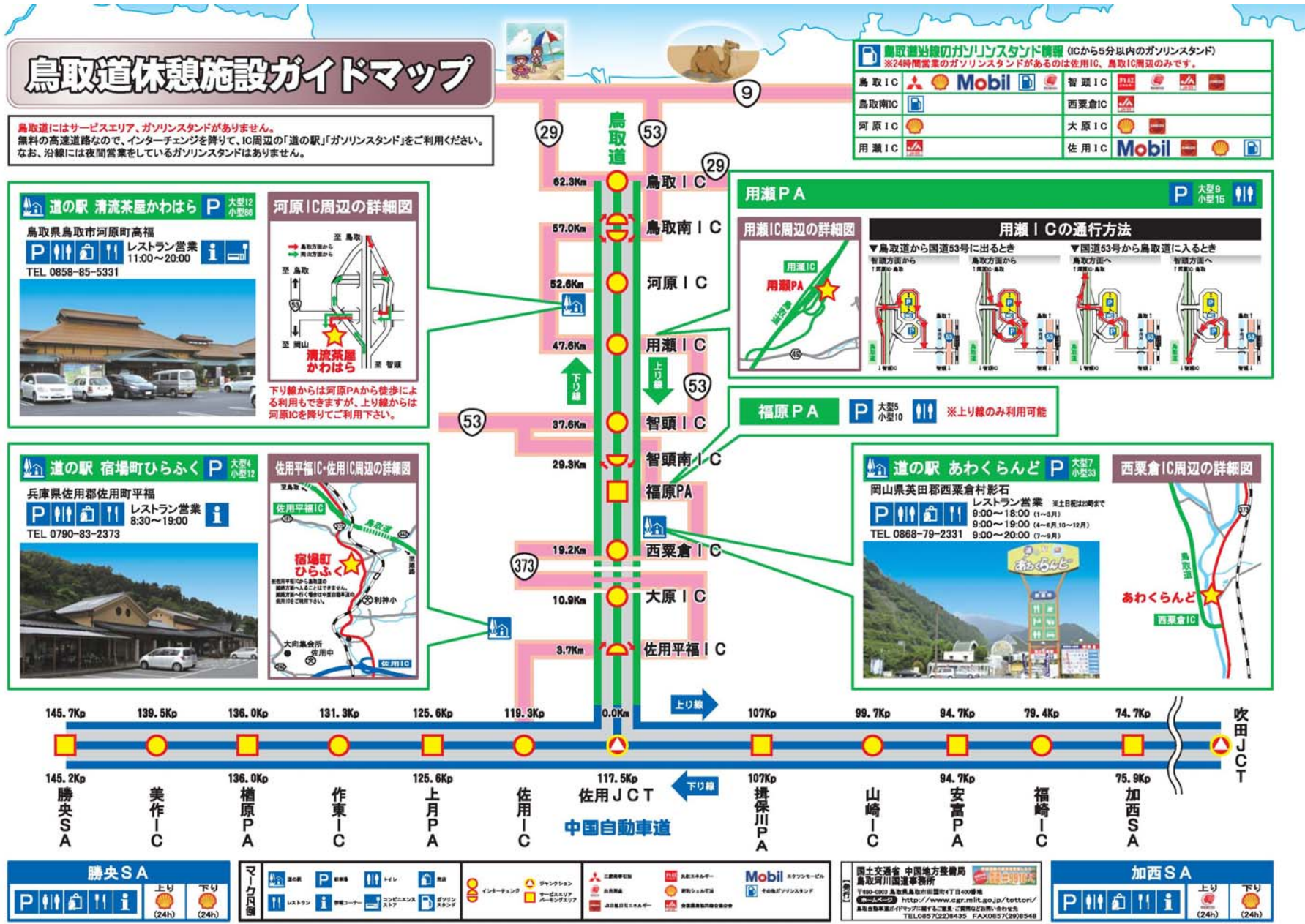
4. 対応策に基づく実際の取り組み内容

4-2. 「鳥取道休憩施設ガイドマップ」の作成

4-2. 「鳥取道休憩施設ガイドマップ」の作成



4-2. 「鳥取道休憩施設ガイドマップ」の作成



4. 対応策に基づく実際の取り組み内容

4-3. 鳥取自動車道地域交流社会実験

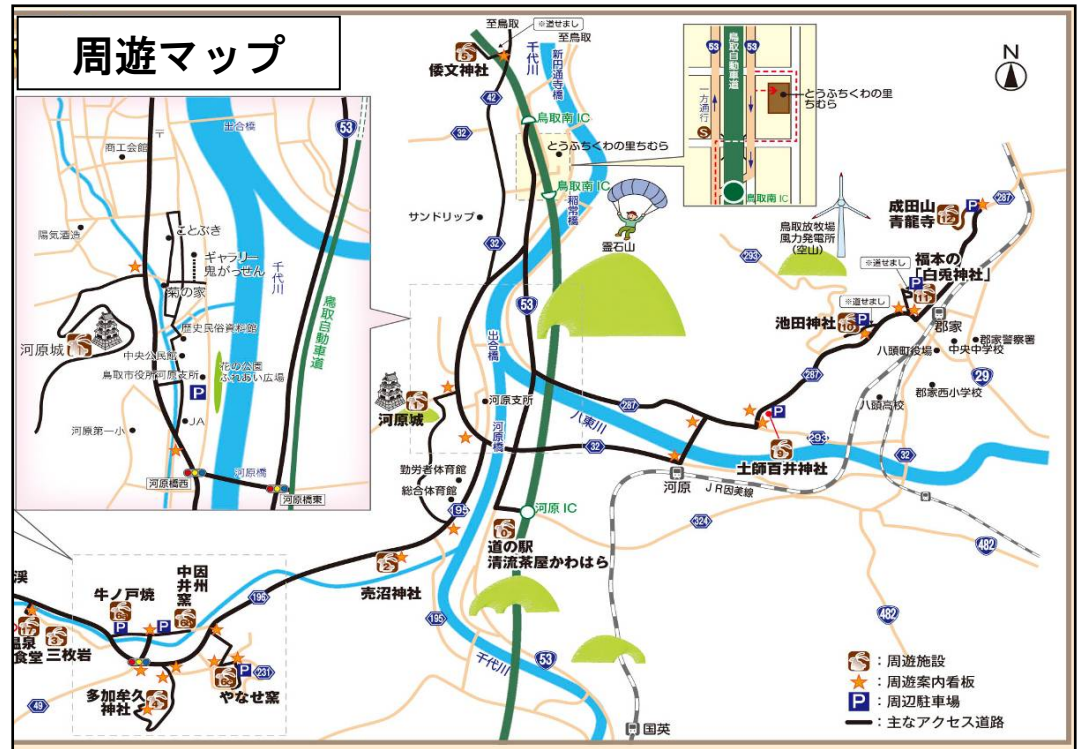
4-3. 鳥取自動車道地域交流社会実験

《実験目的 「道の駅 清流茶屋かわはら」》

- 鳥取自動車道のSA代替施設として活用
- 高速道路利用者へのサービスを提供
- 「道の駅」を起点とした周遊ルートを設定
- 地域への回遊性を向上

《実験内容》

- 因幡街道周遊ルートの形成と案内・誘導看板の整備
 - ・SAに準じた案内標識の設置 → 道の駅へ誘導 (写真①)
 - ・案内看板を沿道へ設置 → 周遊マップと連動 (写真②)
- 道の駅を活用したSA・PA代替施設の構築
 - ・仮設案内所設置と案内人配置 → 周遊観光のゲートウェイ化 (写真③)
- 地域の取組
 - ・立ち寄り施設へ施設説明看板を設置 (写真④)
 - ・立ち寄り施設を活用したスタンプラリーを実施 (写真⑤)
 - ・モニターツアーを実施 (80名参加) (写真⑥)



《実験主体》

- 鳥取自動車道地域交流社会実験協議会 (因幡街道交流会議、鳥取市南商工会、鳥取市商店街連合会、沿線市町村ほか)

《実施期間》

平成23年12月17日～同年12月25日

《実験の効果》

- 立ち寄り観光客の増
- 新たな観光資源の発掘
- 観光ゲートウェイとしての道の駅の活用
- 観光施設への誘導改善



①鳥取道に設置した案内表示



②マップと連動した仮設案内看板の設置



③道の駅に案内所を設置



④施設説明看板の設置



⑤立ち寄り施設でのスタンプラリー



⑥モニターツアーの実施

4. 対応策に基づく実際の取り組み内容

4-4. ガソリンスタンド案内看板の試行

4-4. ガソリンスタンド案内看板の試行

1. 試行【社会実験】の背景

●道路を利用される方へのサービス向上、ガス欠の防止

◇鳥取道では、開通(平成22年3月)後、智頭付近～鳥取ICの間で高速道路上でのガス欠が多く発生。

◇道路を利用される方に対して、インターチェンジを出た一般道路に存在する『ガソリンスタンド』へのわかりやすい案内が必要。

●高速道路沿線地域の振興と活性化、地域間交流の促進

◇地域の活性化のため、高速道路沿線地域の経済・産業の振興、観光や地域間交流の促進が必要。

2. 試行【社会実験】の目的

【道路を利用される方へのサービス向上の確認】

①高速道路を利用される方が迷うことなくガソリンスタンドを利用できる利用者サービスの向上とガス欠の防止効果の確認。

【高速道路沿線のガソリンスタンドの収益への影響の確認、沿線地域の活性化効果の確認】

②一般道路に存在するガソリンスタンドの利用を促すことによる高速道路沿線のガソリンスタンドの収益への影響の確認。

【高速道路での案内標示に関するルールの検討】

③高速道路での案内標示に関するルールの検討。(対象とする施設、表示する内容、費用負担のあり方等について検討)

3. 試行【社会実験】の概要 ※次項:給油施設への案内標示(試行中)配置計画図 を参照

■鳥取道を利用される方に対し、智頭IC付近において『一般道路に存在するガソリンスタンド』を案内する標示板を設置

◇鳥取県への来訪者など道路を利用する方に対し、『ガソリンスタンドのロゴマーク入り』の標示板を設置します。

※ 実験の実施(効果の検証や案内標示の設置に関するルールの検討に関する調査等を含む)にご協力いただけるガソリンスタンドについて『ロゴマーク・営業時間』を表示 することとしています。

【社会実験の流れ・スケジュール】

1) 実験の実施(影響や効果の調査・把握)

ガソリンスタンドの案内標示、各種調査

2) 実験結果の評価・分析(効果検証、課題整理)

※実験の結果(利用者サービスの向上やガソリンスタンドの収益への影響等)を評価・分析します。

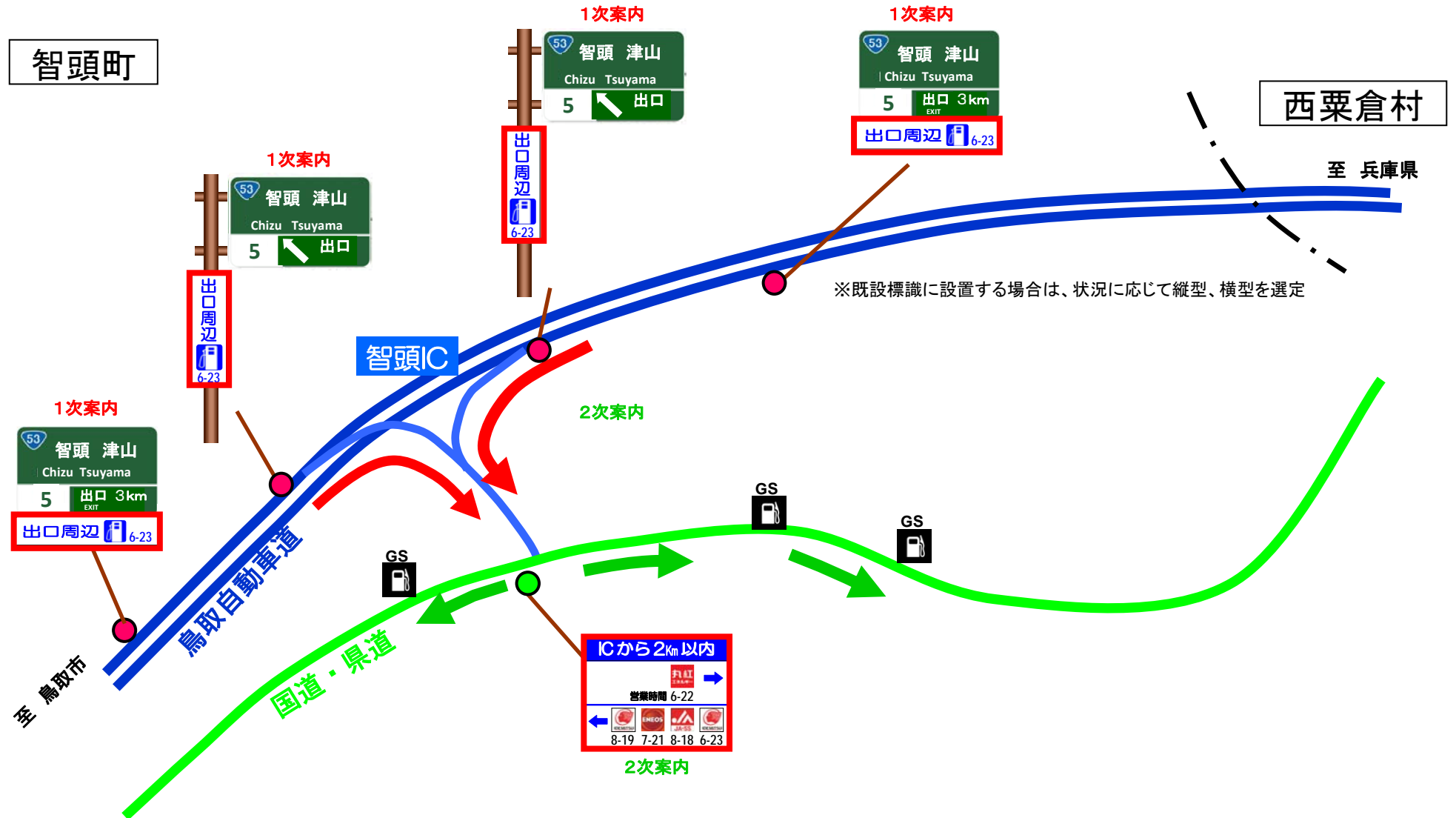
3) 本格実施・恒久化の検討

※案内標示の恒久設置について検討します。

4-4. ガソリンスタンド案内看板の試行

4. 配置計画図

- ◆智頭ICは鳥取道の中央付近に位置し、その周辺でガス欠も発生しているため、利用者サービスと交通安全の確保の観点からガソリンスタンドを案内。
- ◆官民一体となったきめ細かい案内サイン(GS各社ロゴマークを表示)を設置し、今後の道路施設の維持管理のあり方等についても検討。



4-4. ガソリンスタンド案内看板の試行

5. 現地状況



①鳥取道本線上の案内表示
(兵庫方面行き 智頭IC3km手前付近)



②鳥取道本線上の案内表示
(兵庫方面行き 智頭IC出口付近)



⑤国道53号(智頭IC交差点)での案内表示



③鳥取道本線上の案内表示
(鳥取方面行き 智頭IC3km手前付近)

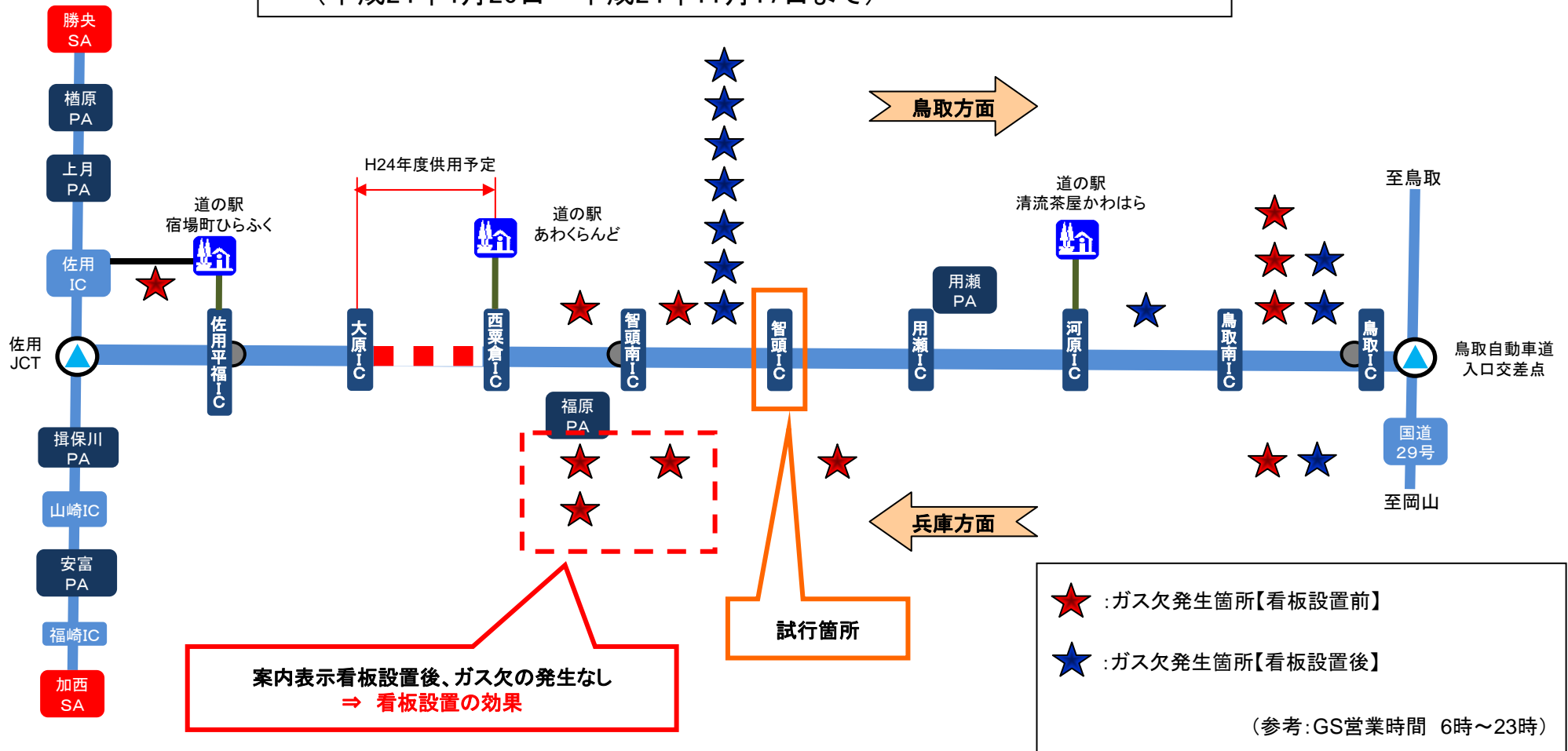


④鳥取道本線上の案内表示
(鳥取方面行き 智頭IC出口付近)

4-4. ガソリンスタンド案内看板の試行

6. 鳥取道でのガス欠の発生状況(GS営業時間内)

・案内表示看板設置前のガス欠発生件数 (平成22年3月開通より2年間)	11件
・案内表示看板設置後のガス欠発生件数 (平成24年4月26日～平成24年11月17日まで)	11件



4-4. ガソリンスタンド案内看板の試行

7. 給油施設案内表示の試行に関するアンケート調査

■ アンケート調査概要

1. 調査方法:
直接聞き取りによるアンケート調査
2. 調査場所:
【ガソリンスタンド】
 - ・智頭IC付近のガソリンスタンド5店舗【観光施設】
 - ・道の駅 清流茶屋かわはら
 - ・鳥取砂丘
3. 調査時期
平成24年5月4日(金)
4. 回答属性
 - ①回答者数:316人(うちGS:134、観光施設:182)
※鳥取道利用者を対象として調査
 - ②性別

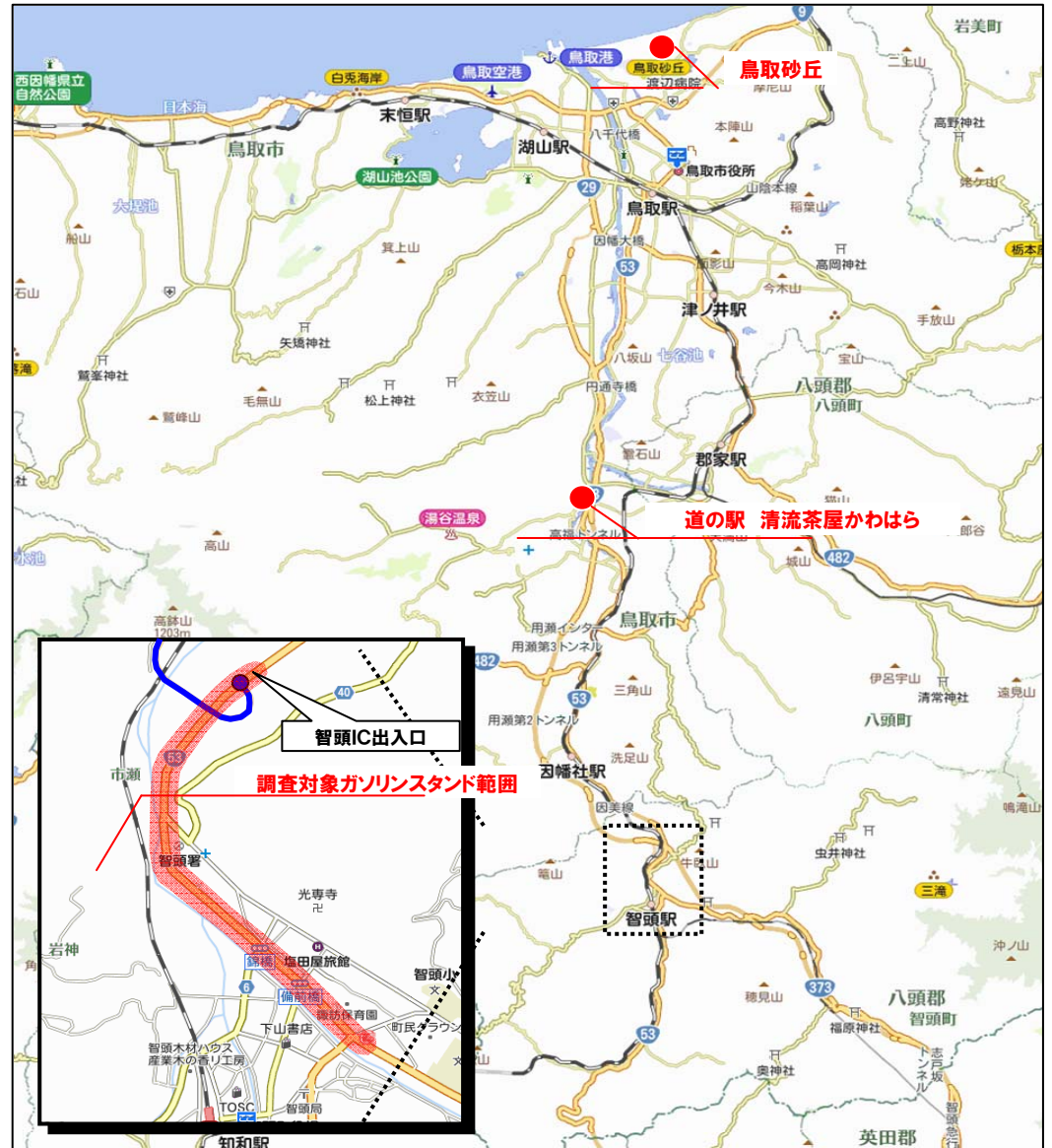
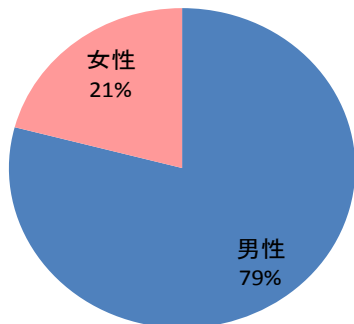


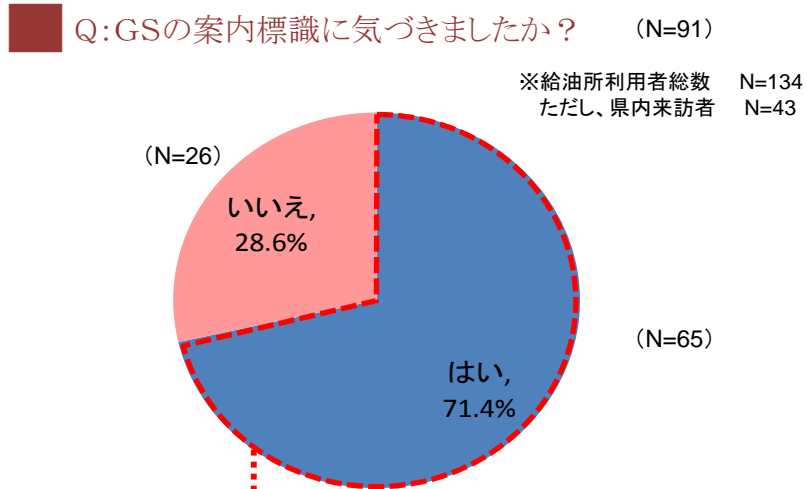
図 アンケート調査位置図

4-4. ガソリンスタンド案内看板の試行

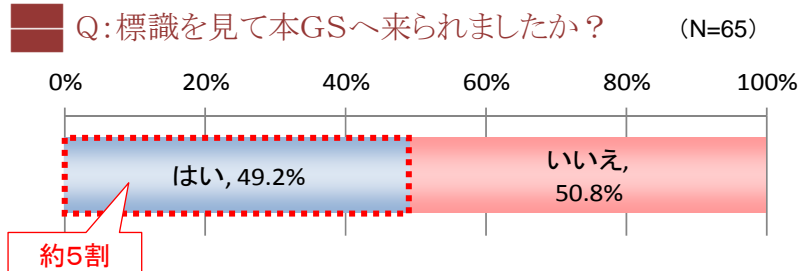
7. 給油施設案内表示の試行に関するアンケート調査

アンケート調査結果(抜粋)

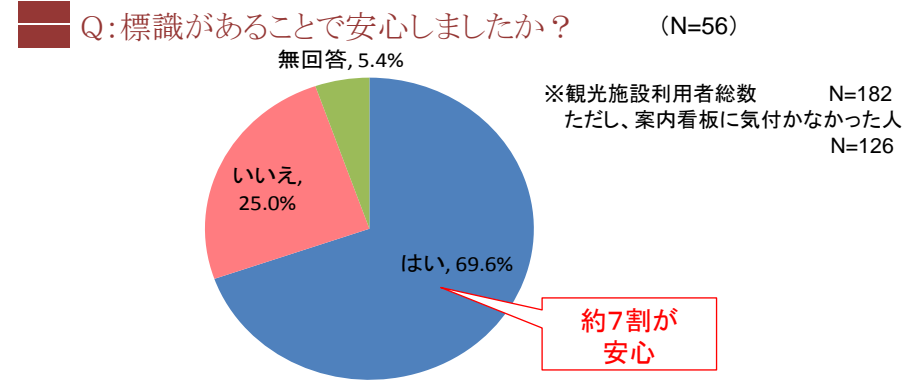
給油所利用者(うち県外からの来訪者)



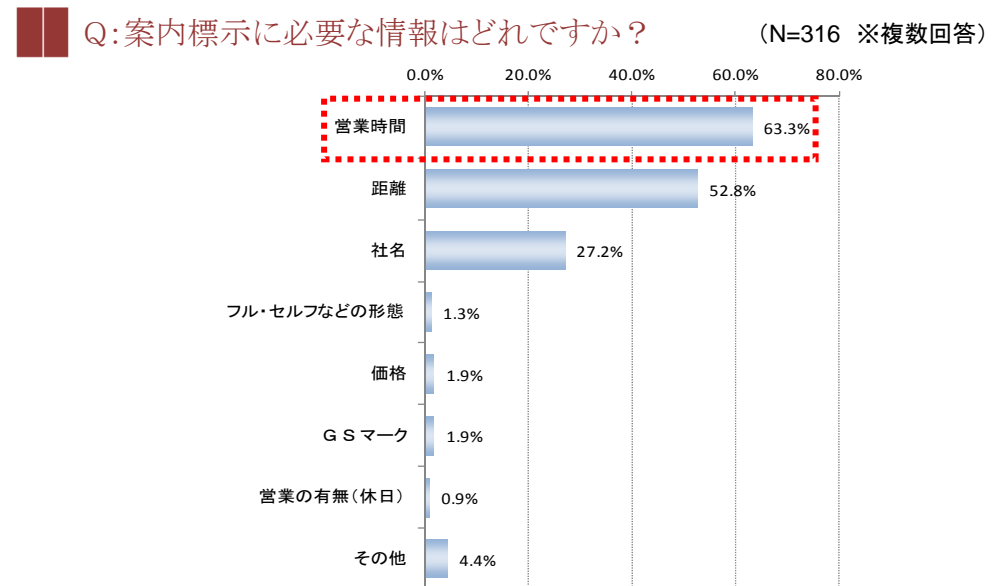
「はい」と答えた方へ質問



観光施設利用者(うち案内看板に気付いた方)



回答者全体



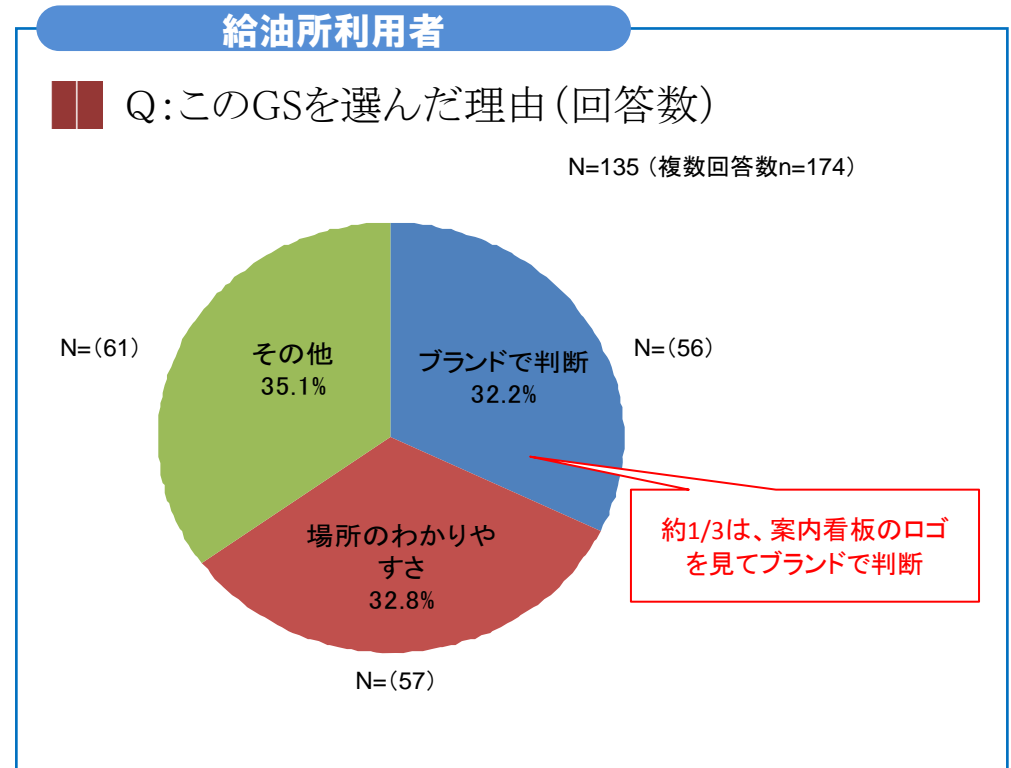
4-4. ガソリンスタンド案内看板の試行

7. 給油施設案内表示の試行に関するアンケート調査

追加アンケート調査概要

各ガソリンスタンド店舗への来店理由を把握するために、追加確認アンケートを実施

1. 調査方法:
 - ・直接聞き取りによるアンケート調査
2. 調査場所:
 - ・智頭IC付近のガソリンスタンド5店舗
3. 調査時期
 - ・平成24年8月12日(日)
4. 回答者数
 - ・135人
 - ※県外ナンバーの鳥取道利用者を対象として調査



◆ アンケート調査結果まとめ ◆

- 5月のアンケート結果より、案内表示内容に対する利用者のニーズは、①営業時間、②GSまでの距離、③社名(ロゴ)であることが判明した。
- 8月の確認アンケートでは、来店理由として①場所のわかりやすさ、②ブランドとなっており、案内誘導に必要なものとして、①と②は同程度求められている。

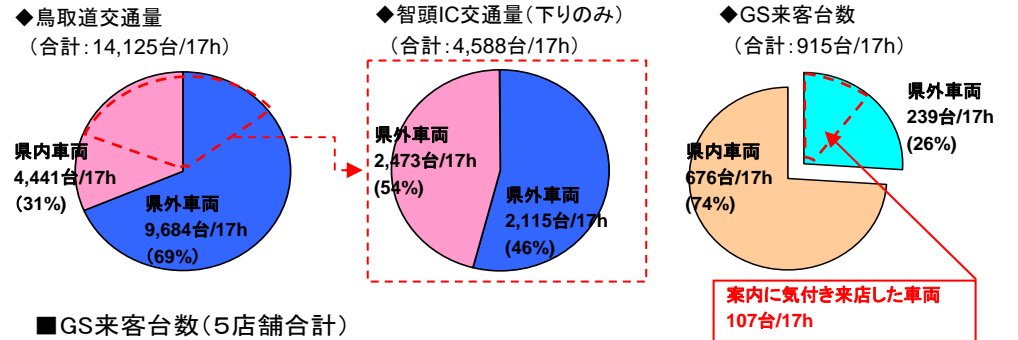
4-4. ガソリンスタンド案内看板の試行

8. 交通流動から推察する給油施設への案内標示板の効果

【お盆時(8/12)調査】

- ・GS案内標識が確認できる鳥取自動車道の県外利用台数は97百台(全体141百台)。
- ・各GSの県外利用台数計は239台。うち約107台が案内標識により来店。
- ・県外の本線利用交通97百台のうち、107台(約1.1%)が案内標識により来店。
- ・同様に、県外の智頭IC下り線交通量21百台のうち、107台(約5.1%)が案内標識により来店。

※交通量、利用台数はGSの営業時間である6時~23時の17時間での数値
 ※県内車両、県外車両の区分については、車両のナンバープレートの車籍地より分類



■GS来客台数(5店舗合計)

	来客台数	うち県外客	県外客の割合
5店舗合計	915	239	26.1%

○8月お盆実施したGSアンケート調査より
 ・県外車両でGS案内標識に気づいた人: 68.9%
 ・県外車両で標識を見てGSに来店された人: 64.8%
 ⇒GS案内標識に気づき来店した人: 44.6% (=68.9%×64.8%)

よって、**県外客239台のうち約107台が案内標識に気づき来店。**
 ※県外客239台×案内標識気づき来店44.6%=106.6≒107台

◎智頭IC周辺GSが利用可能な県外本線交通量は以下の通り
 智頭~用瀬間上り: 4,965台
 智頭南~智頭間下り: 4,719台
 合計: 9,684台

本線交通量9,684台のうち、107台が案内標識に気づき来店した台数。
 ⇒**本線交通量の約1.1%が案内標識によるGSの利用。**

◎智頭IC線の下り県外交通量は以下の通り

智頭IC線下り: 2,115台
 IC線交通量2,115台のうち、107台が案内標識に気づき来店した台数。
 ⇒**智頭IC下り線交通量の約5.1%が案内標識によるGSの利用。**

4. 対応策に基づく実際の取り組み内容

4-5. 観光地案内看板の試行

4-5. 観光地案内看板の試行

1. 試行の背景

- 鳥取道沿線地域の振興と活性化

- ◇ 鳥取道は、無料の自動車専用道路のため、その特性を活かした地域活性化が期待されている。

- ◇ 沿線地域の産業振興や地域の活性化の取り組みが検討されている。

- ◇ 鳥取道を利用される方への案内誘導について地域から要望があり、鳥取道から観光地までの一体的な案内が求められている。

2. 試行の目的

- 【道路を利用される方へのサービス向上、交通安全性の確認】

道路を利用される方を目的地まで分かり易く誘導することによるサービスの向上。ただし、自動車専用道路上に案内表示板が乱立しないよう交通安全性の確保が必要

- 【鳥取道沿線の観光地への影響の確認、沿線地域の活性化効果の確認】

鳥取道から沿線地域への立ち寄りを促すことで沿線地域の活性化

- 【鳥取道での案内表示に関するルールの検討】

鳥取道での案内表示に関するルールの検討(対象とする施設、表示する内容、費用負担など)

3. 試行の概要

- 案内板設置の効果や交通安全性の確認のため、仮設看板を設置

- ◇ 鳥取道本線 : 鳥取河川国道事務所が負担

- ◇ 一般道 : 各道路管理者が負担

※案内看板は、別紙のイメージ図を参照

- 試行時期 : 平成24年 8月31日(金) から 年内までを予定

4-5. 観光地案内看板の試行

4. 試行のイメージ

1. 対象観光地

智頭宿 ・ 板井原集落 ・ 芦津溪谷

2. 誘導方法

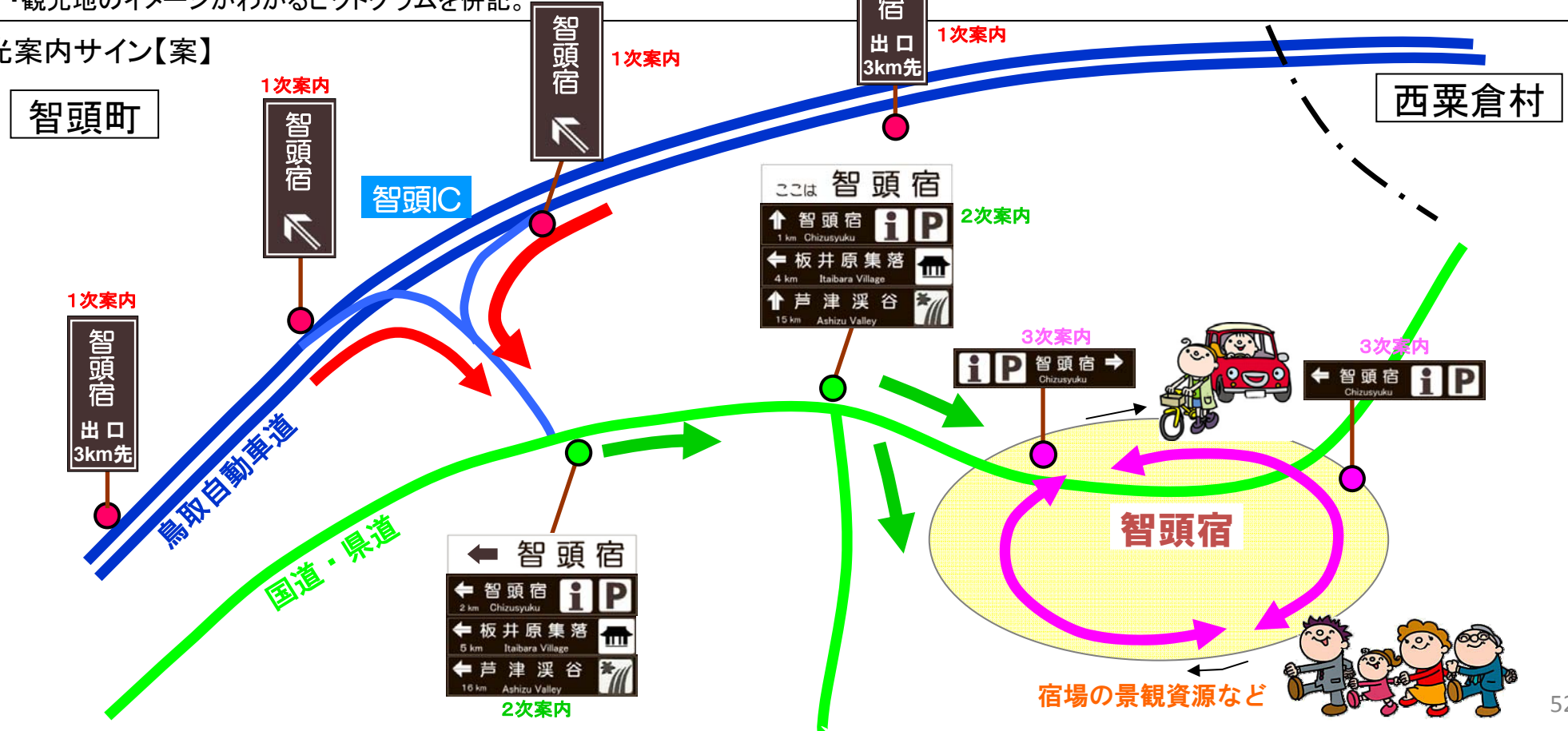
鳥取道から、観光案内所のある智頭宿駐車場へ案内し、そこを拠点に周遊観光を促す。

- ① 1次案内 … 鳥取道本線のIC出口に、地域を代表する観光地点である「智頭宿」を表示した案内看板を設置
- ② 2次案内 … ICを降りた先の一般道に、智頭宿近郊にある主要な観光地を表示した案内看板を設置
- ③ 3次案内 … 目的の観光地（駐車場等）まで案内誘導が出来るように、最寄りの交差点や観光地直近に案内看板を設置

3. 案内板の概要

- ・ 一体感を出すため、杉のイメージや国内外の事例から茶系で統一する。
- ・ 観光地のイメージがわかるピクトグラムを併記。

観光案内サイン【案】



4-5. 観光地案内看板の試行

5. 現地状況



①鳥取道本線上の案内表示
(兵庫方面行き 智頭IC3km手前付近)



②鳥取道本線上の案内表示
(兵庫方面行き 智頭IC出口付近)



③鳥取道本線上の案内表示
(鳥取方面行き 智頭IC出口付近)



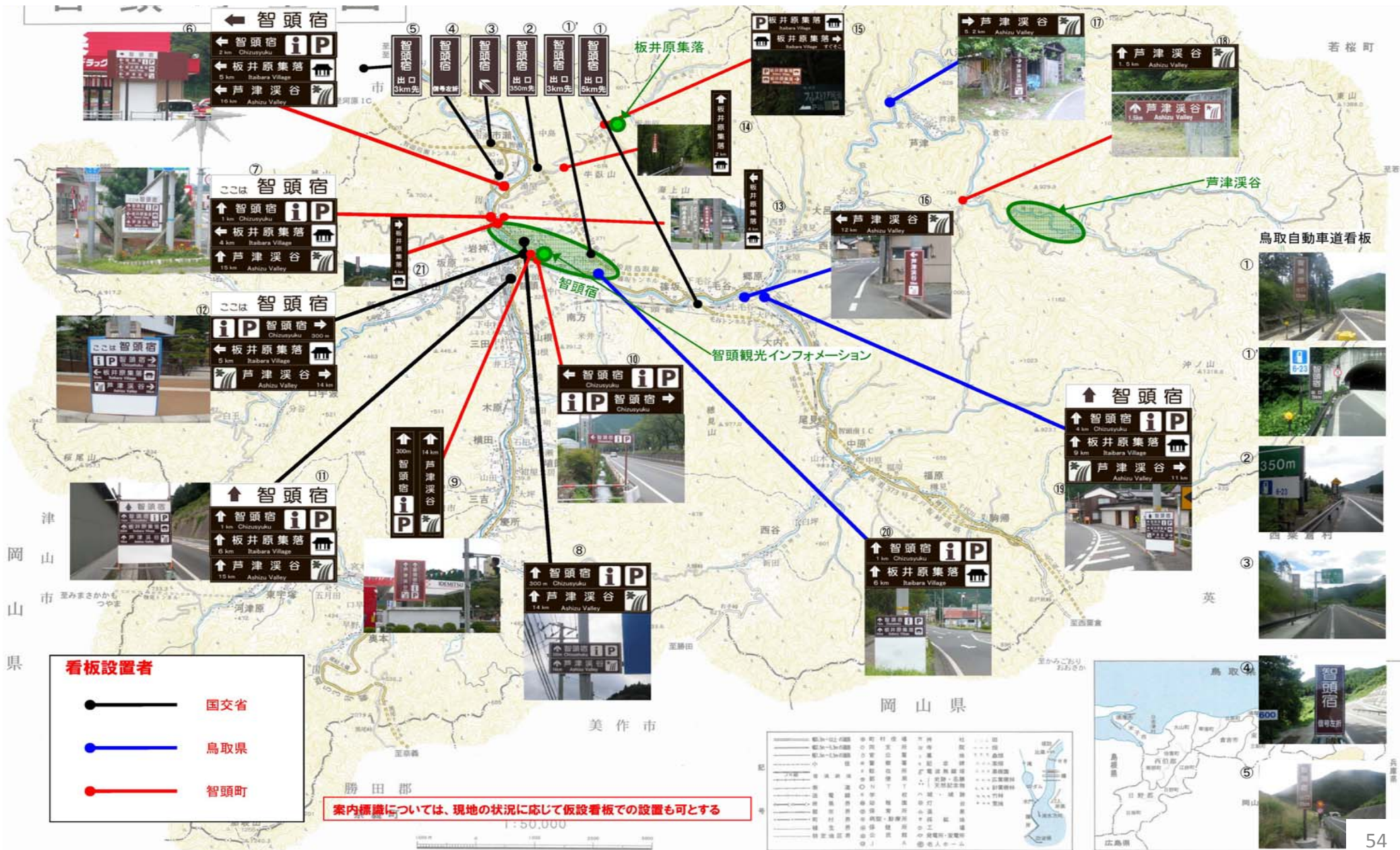
④国道53号(智頭IC交差点)での2次案内表示
※既設看板の張り替え(智頭町施工)



⑤国道373号(智頭宿駐車場入り口)での3次案内表示
※仮設看板の設置(智頭町施工)

4-5. 観光地案内看板の試行

6. 配置計画図



岡山
山
市

岡山 県

4-5. 観光地案内看板の試行

7. 観光地案内看板の試行に関するアンケート調査

(1) アンケート結果まとめ

鳥取道の利便性向上の一環および沿線地域の振興と活性化を目的として、全国初となる高速道路から観光地までの一体的な案内表示を智頭ICで平成24年8月31日より試行設置をしている。

試行内容について、智頭町への観光客の方々を対象にアンケート調査を実施した結果は、以下のとおりである。

【一体的な案内表示による改善効果】

- ・観光地案内看板の認知度が、**45%から65%へと改善**。

【鳥取道での看板による誘発効果】

- ・鳥取道智頭ICを經由する来訪者は、案内看板により**約1割増加**。

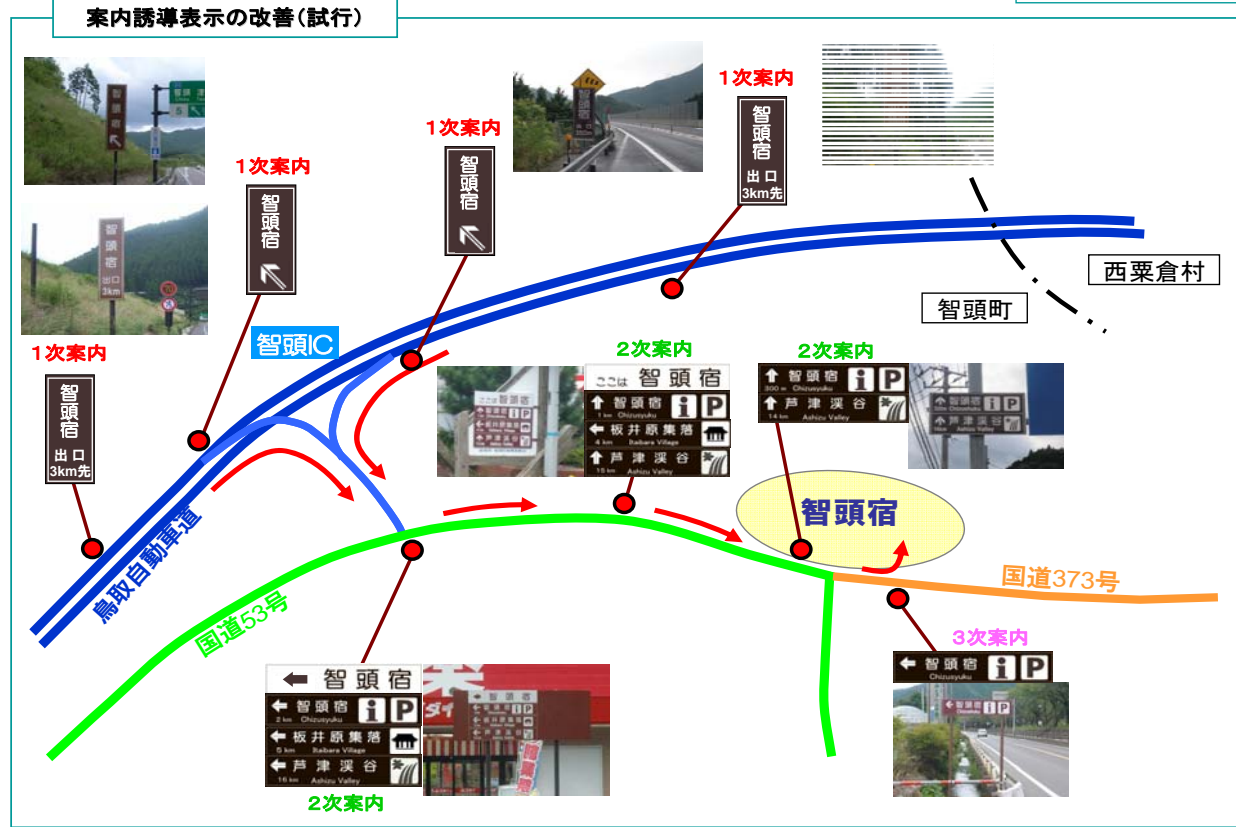
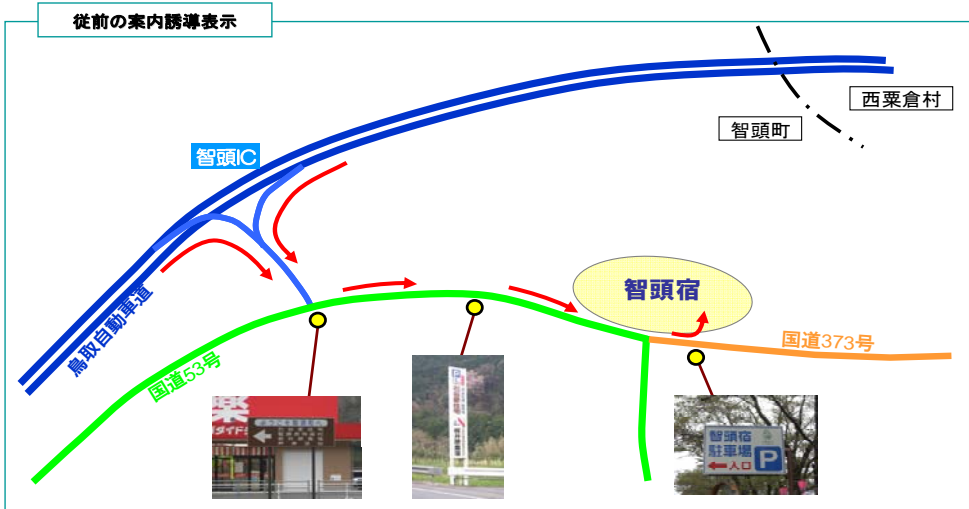
【案内看板の視認性・適切さ】

- ・案内看板に気付いて、案内看板を見ながら智頭宿へ来られた方のうち、**約8割の方から看板が見やすかった**との意見をいただき、**誘導方法についても、約7割の方が適切**であると評価。

4-5. 観光地案内看板の試行

7. 観光地案内看板の試行に関するアンケート調査 (1) 案内表示改善概要

従来は、観光地までの案内誘導をそれぞれの看板が個別に表示していましたが、今回の試行では、鳥取道から観光地までを一体的な案内誘導表示とすることで改善を図りました。



4-5. 観光地案内看板の試行

7. 観光地案内看板の試行に関するアンケート調査

(3) アンケート調査概要

1. 調査方法:

直接聞き取りによるアンケート調査

2. 調査場所:

智頭宿駐車場

3. 調査時期

試行前:平成24年8/11(土)~26(日)

試行後:平成24年9/16(日)、22日(土)、10/7(日)

4. 回答属性

※自動車ドライバーを対象として調査

①回答者数

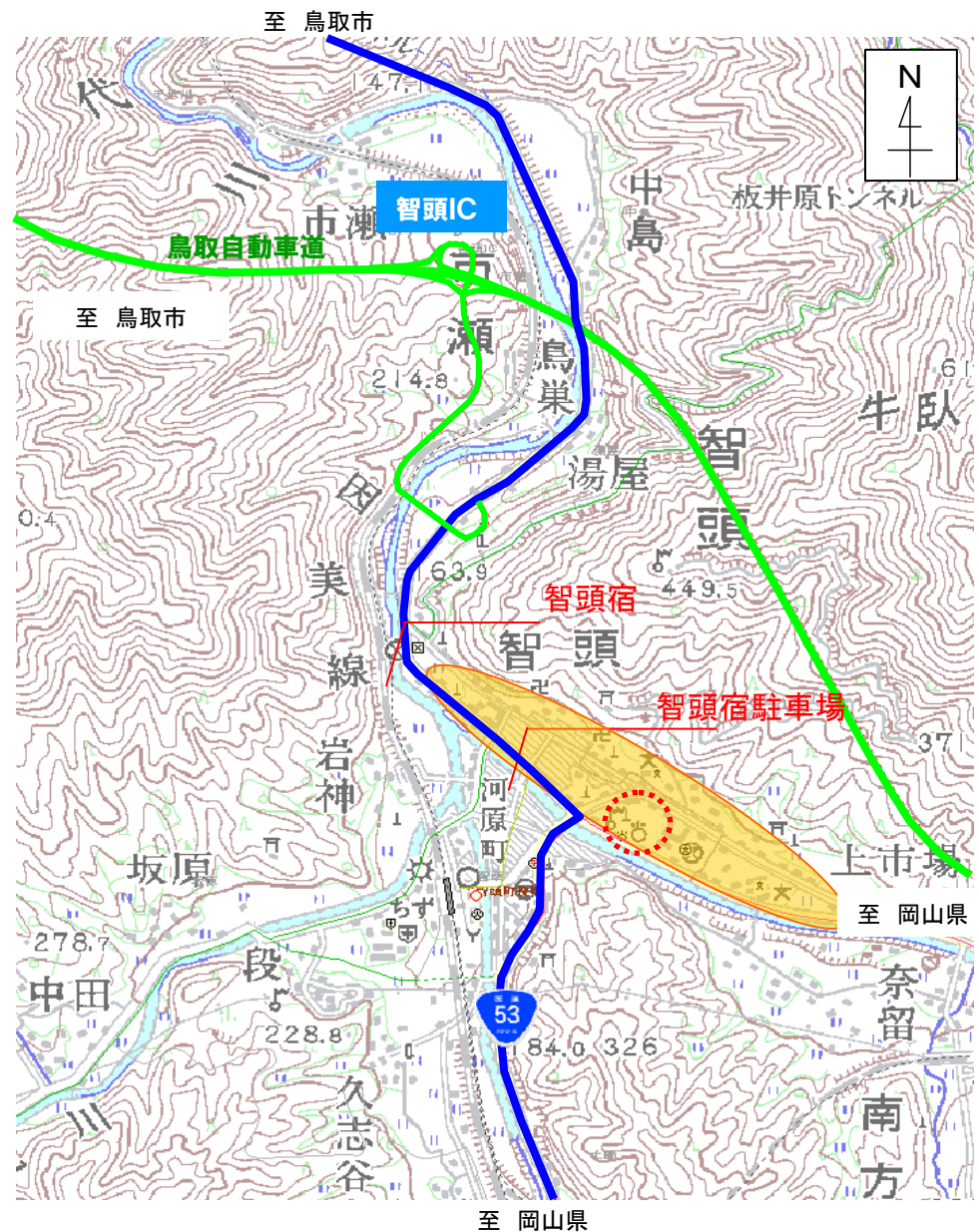
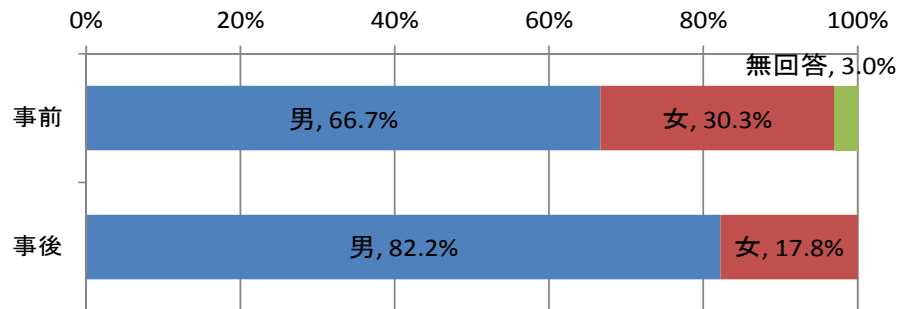
試行前: 48人

試行後: 30人(9/16)

25人(9/22)

35人(10/7) 計90人

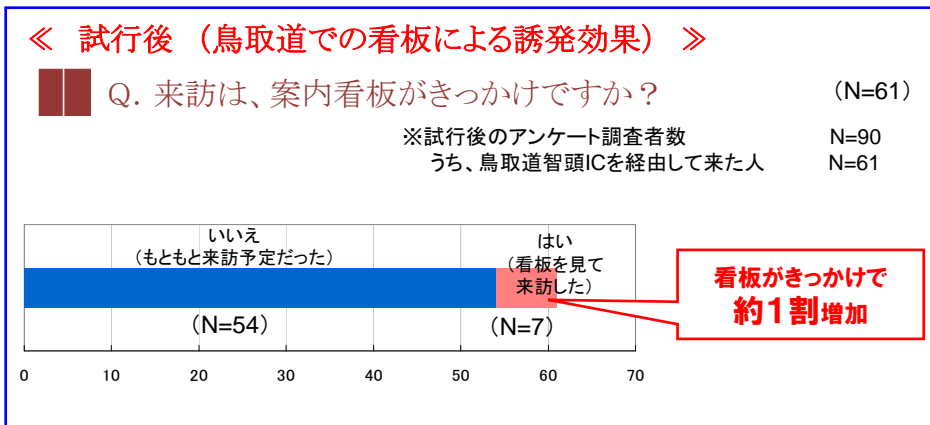
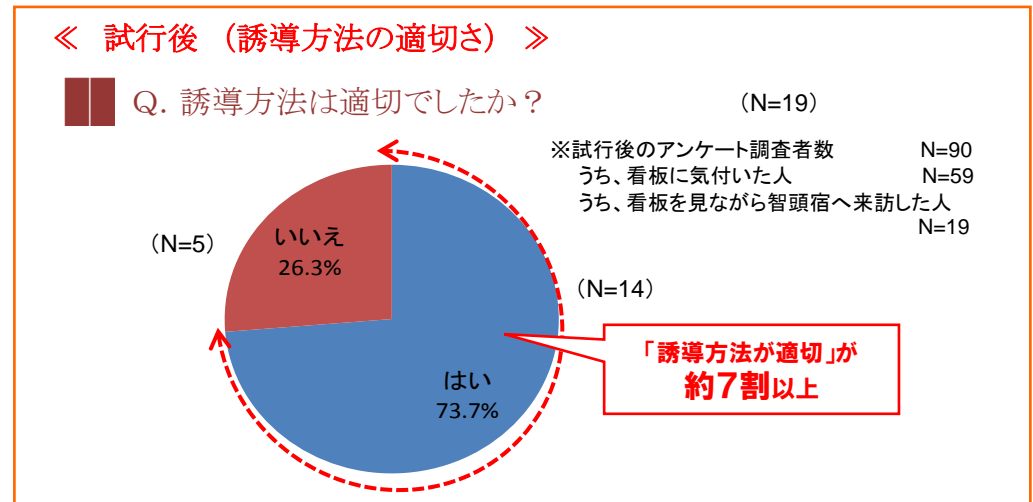
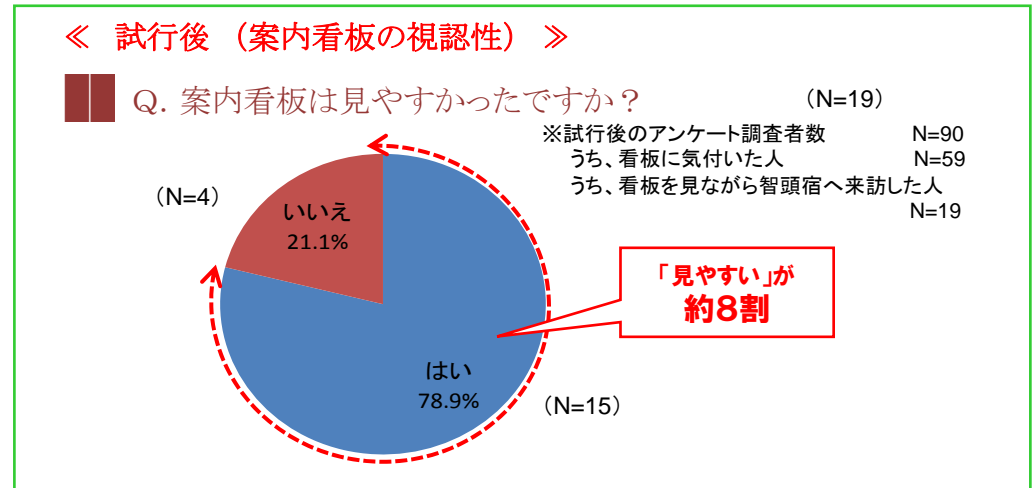
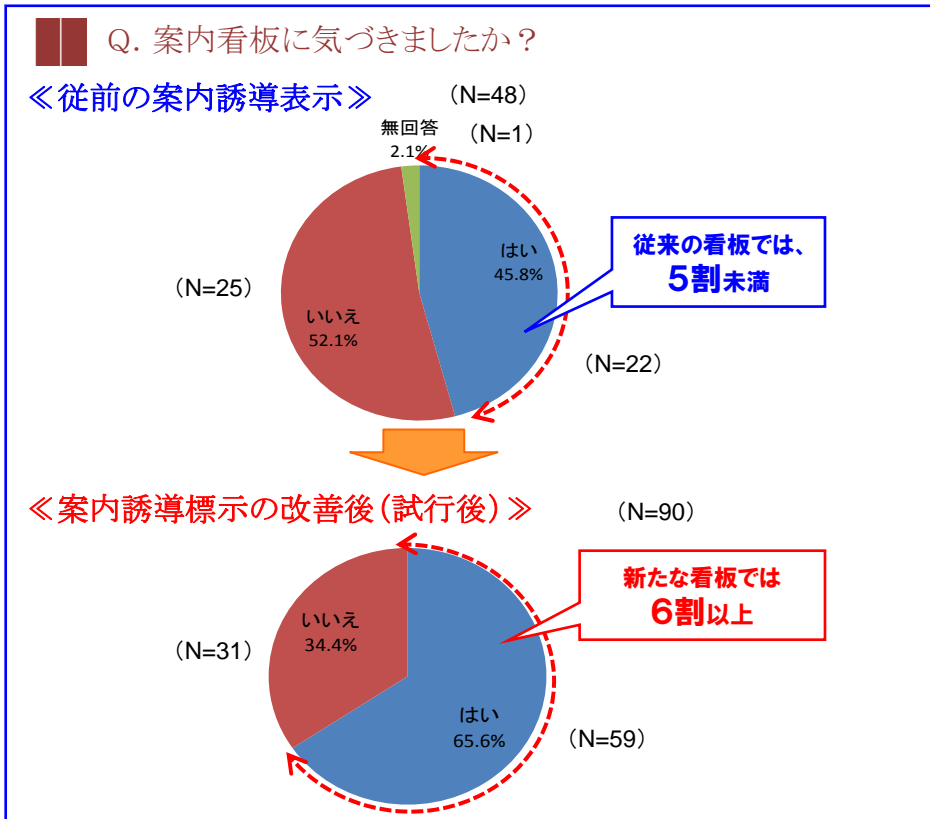
②性別



4-5. 観光地案内看板の試行

7. 観光地案内看板の試行に関するアンケート調査

(4) アンケート調査結果



◆ 観光客からの自由意見 ◆

- ・看板の統一感があつてよい。
- ・色が従前の道路標識と異なり見やすい。
- ・全国統一となれば、意識して見やすくなる。

4-5. 観光地案内看板の試行

8. 観光地案内看板の試行に関する地域からの声

【案内表示の試行に対する地域からの声】

⇒試行に携わっていただいた智頭町内の地域づくり関係者の方々からの意見

- ・観光客へ経路を説明する際に、「茶色の看板を目安に」という説明ができるので、案内説明が容易になった。
- ・鳥取道本線の看板を見て、「智頭宿」という言葉が気になって来訪したという方がいるとのことを聞いた。看板の誘発効果はあるようだ。
- ・智頭宿へ来訪される方のうち、これまでは誘導ルートとは異なるルートから進入して来る人がいたが、案内看板が増えたことで、そういった間違いをする人が減ったように感じる。
- ・看板色の茶色については良いと思う。これまでの既存の標識にない色なので観光客にも説明しやすい。